

は男性受検者に比べ低かった。

MSM 受検者 (n=1,471) の平均年齢±標準偏差は 33.3±10.3、最少年齢 16 歳、最高年齢 74 歳であり、SW 利用 MSM 受検者 (n=259) の平均年齢±標準偏差は 35.6±10.5、最少年齢 16 歳、最高年齢 70 歳であった。SW 利用 MSM 受検者は MSM 受検者に比べ、結婚している割合が高く、HIV 抗体検査受検割合は低かった。知識の正答割合について SW 利用 MSM 受検者と MSM 受検者の間で有意差はみられなかった。周囲の HIV 感染者の有無では「いる・いると思う」割合が、SW 利用 MSM 受検者は MSM 受検者に比べ低く、身近な友達に HIV や性感染症に関して相談「できる・できると思う」割合も低かった。自分の家族に HIV や性感染症に関して相談「できる・できると思う」割合は、SW 利用 MSM 受検者と MSM 受検者の間で有意差はみられなかった。過去 6 ヶ月間に HIV 感染の不安について「よくあった・時々あった」割合は、SW 利用 MSM 受検者は MSM 受検者に比べ高かった。性感染症既往歴は、SW 利用 MSM 受検者と MSM 受検者の間で有意差はみられなかった。HIV 陽性判明を想定した場合の受診行動への自信について「必ず行く」と回答する割合も、SW 利用 MSM 受検者は MSM 受検者に比べ高かった。

女性受検者 (n=3,731) の平均年齢±標準偏差は 29.3±8.3、最少年齢 13 歳、最高年齢 73 歳であり、SW 女性受検者 (n=425) の平均年齢±標準偏差は 27.3±8.0、最少年齢 15 歳、最高年齢 57 歳、WSW 受検者 (n=141) の平均年齢±標準偏差は 29.0±8.3、最少年齢 16 歳、最高年齢 66 歳であった。SW 女性受検者は女性受検者に比べ、一人暮らしの割合が高く、結婚している割合は低かった。また健康保険に未加入の割合が高く、HIV 抗体検査受検割合が高かった。知識については重複感染についての正答割合のみ有意に高かった。周囲の HIV 感染者の有無では「いる・いると思う」割合が、SW 女性受検者は女性受検者に比べ高

く、自分の家族に HIV や性感染症に関して相談「できる・できると思う」割合は極めて低かった。過去 6 ヶ月間に HIV 感染の不安について「よくあった・時々あった」割合は、SW 女性受検者は女性受検者に比べ極めて高く、性感染症既往歴も高かった。HIV 陽性判明を想定した場合の受診行動への自信について「必ず行く」と回答する割合は、SW 女性受検者は女性受検者に比べ低かった。

また WSW 受検者は女性受検者に比べ結婚している割合は低く、HIV 抗体検査受検割合が高かった。知識については服薬治療についての正答割合のみ有意に高かった。周囲の HIV 感染者の有無では「いる・いると思う」割合が、WSW 受検者は女性受検者に比べ高く、身近な友達に HIV や性感染症に関して相談「できる・できると思う」割合は高かった。HIV 陽性判明を想定した場合の受診行動への自信について「必ず行く」と回答する割合は、WSW 受検者は女性受検者に比べ高かった。

4) 男性受検者における「受診に対する自信」との関連要因 (表 3)

男性受検者において、HIV 陽性判明を想定した場合の受診行動への自信を従属変数 (必ず行く=1、多分、行けると思う・多分、行けないと思う・絶対行けない=0) として、単回帰分析によって統計的に有意差がみられた要因について多変量解析を行った。

その結果、男性受検者の受診行動への自信には、自分の家族に HIV や性感染症に関して相談「できる・できると思う」がもっとも強く影響しており、相談できる・できると思う人は、できない・できないと思う・わからない人に比べ 2.18 倍の odds 比であった (95% 信頼区間、以下 95%CI:1.82-2.61)。次いで 50 歳以上の方が 24 歳以下に比べ 1.52 倍の odds 比であり (95%CI:1.11-2.10)、相談場所を知っている人が 1.37 倍 (95% CI:1.17-1.60)、身近な友達に HIV や性感染症

に関して相談できる・できると思う人が 1.29 倍 (95%CI:1.07-1.55) であった。

5) SW 利用男性受検者における「受診に対する自信」との関連要因 (表 4)

SW 利用男性受検者において、同様に単回帰分析によって統計的に有意差がみられた要因について多変量解析を行った。その結果、SW 利用男性受検者の受診行動への自信においても、自分の家族に HIV や性感染症に関して相談「できる・できると思う」がもっとも強く影響しており、相談できる・できると思う人は、できない・できないと思う・わからない人に比べ 2.39 倍の odds 比であった (95% CI:1.97-2.89)。次いで 50 歳以上の方が 24 歳以下に比べ 1.87 倍の odds 比であり (95% CI:1.35-2.59)、身近な友達に HIV や性感染症に関して相談できる・できると思う人が 1.70 倍 (95%CI:1.40-2.06)、相談場所を知っている人が 1.32 倍 (95%CI:1.13-1.54)、特定の女性との過去 6 ヶ月間の性交時に、コンドーム使用が常用であった人は性交経験がなかった人と比べ 1.37 倍 (95%CI:1.09-1.70)、非常用であった人が 1.22 倍 (95%CI:1.03-1.45) であった。

6) MSM 受検者における「受診に対する自信」との関連要因 (表 5)

MSM 受検者において、同様に単回帰分析によって統計的に有意差がみられた要因について多変量解析を行った。その結果、MSM 受検者の受診行動への自信においても、自分の家族に HIV や性感染症に関して相談「できる・できると思う」がもっとも強く影響しており、相談できる・できると思う人は、できない・できないと思う・わからない人に比べ 2.70 倍の odds 比であった (95%CI:1.92-3.79)。次いで 50 歳以上の方が 24 歳以下に比べ 1.83 倍の odds 比であり (95%CI:1.08-3.13)、身近な友達に HIV や性感染症に関して相談できる・できると思う

人が 1.81 倍 (95%CI:1.43-2.30)、相談場所を知っている人が 1.58 倍 (95%CI:1.24-2.01)、国民健康保険や職場の健康保険に加入している人に比べ被扶養者の保険に加入している人が 0.63 倍 (95%CI:0.43-0.92)、健康保険に未加入の人が 0.54 倍 (95%CI:0.33-0.91) であった。

7) SW 利用 MSM 受検者における「受診に対する自信」との関連要因 (表 6)

SW 利用 MSM 受検者において、同様に単回帰分析によって統計的に有意差がみられた要因について多変量解析を行った。その結果、SW 利用 MSM 受検者の受診行動への自信においては、自分の身近な友達に HIV や性感染症に関して相談「できる・できると思う」がもっとも強く影響しており、相談できる・できると思う人は、できない・できないと思う・わからない人に比べ 2.12 倍の odds 比であった (95%CI:1.03-4.36)。次いで一人暮らしの人は同居の人に比べ 2.07 倍の odds 比であった (95%CI:1.07-3.99)、国民健康保険や職場の健康保険に加入している人に比べ被扶養者の保険に加入している人が 0.08 倍 (95% CI:0.01-0.76)、保健所の該当地域外に居住の人が 0.38 倍 (95%CI:0.16-0.90)、特定以外の男性との過去 6 ヶ月間の性交時のコンドーム使用状況について、性交経験なかった人に比べ、常用であった人が 0.34 倍 (95% CI:0.16-0.72) であった。

8) 女性受検者における「受診に対する自信」との関連要因 (表 7)

女性受検者において、同様に単回帰分析によって統計的に有意差がみられた要因について多変量解析を行った。その結果、女性受検者の受診行動への自信には、自分の家族に HIV や性感染症に関して相談「できる・できると思う」がもっとも強く影響しており、相談できる・できると思う人は、できない・で

きないと思う・わからない人に比べ 2.14 倍の odds 比であった (95%CI:1.80-2.54)。次いで身近な友達に HIV や性感染症に関して相談できる・できると思う人が 1.60 倍 (95% CI:1.36-1.89)、相談場所を知っている人が 1.27 倍 (95%CI:1.08-1.50)、服薬治療についての知識の正答であった人が 1.38 倍 (95% CI:1.15-1.65) であった。

9) SW 女性受検者における「受診に対する自信」との関連要因 (表 8)

SW 女性受検者において、同様に単回帰分析によって統計的に有意差がみられた要因について多変量解析を行った。その結果、SW 女性受検者の受診行動への自信には、自分の家族に HIV や性感染症に関して相談「できる・できると思う」がもっとも強く影響しており、相談できる・できると思う人は、できない・できないと思う・わからない人に比べ 3.94 倍の odds 比であった (95%CI:2.09-7.43)。次いで odds 比としては、相談場所を知っている人が 1.66 倍 (95%CI:1.06-2.60) であった。

10) WSW 受検者における「受診に対する自信」との関連要因 (表 9)

WSW 受検者において、同様に単回帰分析によって統計的に有意差がみられた要因について多変量解析を行った。その結果、WSW 受検者の受診行動への自信には、自分の家族に HIV や性感染症に関して相談「できる・できると思う」がもっとも強く影響しており、相談できる・できると思う人は、できない・できないと思う・わからない人に比べ 3.10 倍の odds 比であった (95%CI:1.21-7.95)。

D. 考察

ここでは本調査は 2013 年 1 月から 9 月まで、8 都府県 78 保健所において実施された。協力保健所における HIV 抗体検査件数は累計で 20,528 件実施されており、同期間同都府県の

エイズ動向委員会報告による検査件数に占める割合は 56.7% (千葉県 35.6%～大阪府 87.5%) であり、有効回収率は 63.4% であった。エイズ動向委員会報告による検査件数を母数とすると、本調査で得られた有効回答数 (n=13,006) は 35.9% にあたる。2001 年の HIV 抗体検査受検者を対象にした質問紙調査は 2001 年 4 月から 1 年間に 33 都府県 131 保健所で 4,102 件の検査受検者を対象に実施されており、地域や協力施設数、検査件数の規模が異なるが、有効回収率は 60.2% とほぼ同じ結果であった。協力保健所は東京都 16 施設のうち 14 施設が 23 区内にあり、仙台市内 5 施設、名古屋市内 13 施設、大阪市内 3 施設、福岡市内 3 施設など 8 都府県の中心部に多くある。したがって本研究では 8 都府県の受検者のうち、中心にある保健所受検者の特性を把握することが可能である。とりわけ有効回答者に占める 8 都府県の保健所 HIV 抗体検査受検者の内訳は大阪府で最も多く 26.7%、次いで東京都 21.1%、愛知県 19.9% であり、3 都市で 67.7% を占めていることから都市部の受検者の特性を反映していると考えられる。

保健所の HIV 抗体検査受検者の特性について性別をみると、男性 66.3%、女性 33.5%、その他 0.2% であった。2001 年の HIV 抗体検査受検者を対象にした質問紙調査で報告されている受検者の男性割合は 61.3% でありほぼ一致している。本研究では性別と生涯の性交相手の性別、過去 6 ヶ月間の金銭を介した性交経験によって対象を分類したが、過去 6 ヶ月間の金銭を介した性交経験はなく生涯の性交相手が異性のみであった女性受検者の既婚割合は 21.4% と男性受検者の 34.0% に比べ低かった。女性は母子感染の予防のために HIV 陽性の妊婦の場合は帝王切開での出産が勧奨されており、妊娠時に HIV 抗体検査受検を促される機会がある。2010 年の産婦人科調査における妊婦 HIV スクリーニング検査実施率は全国平均で 99.7% と報告されている。

そのため女性が保健所等の HIV 抗体検査を自発的に受検することは少なく、受検者特性では男性割合が高かったと考えられる。

保健所の HIV 抗体検査受検者における過去の受検経験は、全体では再受検者が 44.2%であり、2001 年の HIV 抗体検査受検者を対象にした質問紙調査の 24.9%と比べ 19.3%高い結果であった。

再受検者割合は本研究で分類した群で異なっており、MSM 受検者で 72.5%と最も高く、次いで SW 利用 MSM 受検者 63.3%、WSW 受検者 48.9%、SW 女性受検者 48.7%、SW 利用男性受検者 46.0%、男性受検者 36.0%、女性受検者 35.6%であった。本研究の協力保健所のある地域では、ゲイ・バイセクシュアル男性を対象とした CBO による介入活動が 1998 年から行われており、エイズ対策推進事業として 2003 年に東京都新宿区、大阪市でコミュニティセンターが設置され、その後名古屋市（2003 年）、福岡市（2005 年）、仙台市（2009 年）、那覇市（2009 年）にも設置された。こうした活動はゲイ向け商業施設を利用するゲイ・バイセクシュアル男性を中心に行われており、2010 年の調査では生涯 HIV 抗体検査受検割合は 62.7%と報告されている。一方、成人男性を対象とした質問紙調査では生涯受検割合は 10.5%（2009 年）、12.5%（2010 年-2011 年）であった。MSM 受検者では他の受検者に比べ、HIV 感染症や HIV 抗体検査に関する知識の正答割合も高く、CBO の活動によって MSM の受検行動が促進された結果、他に比べ再受検者割合が高い可能性がある。

しかし保健所の HIV 抗体検査受検者に占める MSM 割合は全体の 14.1%（表 1）であり、MSM 受検者や SW 利用 MSM 受検者の受検行動が全体の再受検者割合の増加に寄与したとは考えにくい。また過去 6 ヶ月間に金銭を介した性交経験をもたない男性受検者の再受検者割合は 36.0%、女性受検者では 35.6%と増加の幅は 10%程度であり、2001 年から再受検者割合が

19.3%増加している背景には、性風俗産業における従事者や利用者における再受検者が増加している可能性が示唆される。

本研究では、男性もしくは男性と女性の両方と生涯に性交経験のあった男性を MSM と、女性もしくは男性と女性の両方と生涯に性交経験のあった女性を WSW と、過去 6 ヶ月間の金銭を介した性交経験をセックスワーク (SW) と定義し、男性受検者、SW 利用男性受検者、MSM 受検者、SW 利用 MSM 受検者、女性受検者、SW 女性受検者、WSW 受検者に分類し、それぞれの群で、受検者本人が HIV 陽性判明を想定した場合の受診行動への自信に関連する要因を明らかにした。

多変量解析の結果、男性受検者の受診行動への自信にもっとも強く影響する要因は、自分の家族に HIV や性感染症に関して相談できる・できると思うことであり、できない・できないと思う・わからない人に比べ 2.18 倍の odds 比であった (95%CI:1.82-2.61)。相談場所を知っている人、身近な友達に HIV や性感染症に関して相談できる・できると思うも関連していた。また女性受検者の受診行動への自信においても、自分の家族に HIV や性感染症に関して相談できる・できると思うことはもっとも強く影響する要因であり、できない・できないと思う・わからない人に比べ 2.14 倍の odds 比であった (95%CI:1.80-2.54)。身近な友達に HIV や性感染症に関して相談できる・できると思う、相談場所を知っているも関連しており、男性受検者や女性受検者では HIV 陽性判明後の受診行動に関して家族や周囲の社会の支援が重要な要因であることが示された。

過去 6 ヶ月間にお金をはらった性交経験をもつ SW 利用男性受検者の受診行動への自信にも、自分の家族への HIV や性感染症に関する相談可能性 (OR2.39、95%CI:1.97-2.89) や年齢 (OR1.87、95%CI:1.35-2.59) が影響しており、男性受検者での関連要因と同じ傾

向であった。一方でSW利用男性受検者の受診行動への自信には、特定相手との性交時における過去6ヶ月間のコンドーム使用状況との関連もみられ、特定の女性との過去6ヶ月間の性交時にコンドーム使用が常用であった人は、性交経験をもたない人に比べ1.37倍のodds比であった(95%CI:1.09-1.70)であった。

過去6ヶ月間にお金をもらった性交経験をもつSW女性受検者でも、受診行動への自信と関連する要因としては自分の家族へのHIVや性感染症に関する相談可能性(OR3.94、95%CI:2.09-7.43)が最も高かった。

MSM受検者の受診行動への自信にも、自分の家族にHIVや性感染症に関して相談できる・できると思うこと(OR2.70、95%CI:1.92-3.79)がもっとも強く影響しており、次いで年齢、身近な友達にHIVや性感染症に関して相談できる・できると思う、相談場所を知っているであった。MSM受検者にとって自分の家族には同性のパートナー等も含まれる可能性もあるが、親や兄弟姉妹といった自分の家族や周囲の社会の支援が重要であることは男性受検者や女性受検者と共通していると考えられる。この傾向はWSW受検者でも同様であり受診行動への自信には、自分の家族にHIVや性感染症に関して相談できる・できると思うこと(OR3.10、95%CI:1.21-7.95)がもっとも強く影響していた。

しかしMSM受検者では、HIVや性感染症について自分の家族に相談できる・できると思う割合は22.3%であり、男性受検者(43.6%)と比べて極めて低い($p<0.01$)。同性間の性行為については、住民基本台帳から層化2段抽出法で18歳から59歳の男女5,000人を抽出した1999年に実施された全国調査で、男性同士のセックスに対しよくないと回答する人の割合が55.0%から70.4%であり、年齢が高いほど認容しない傾向であることが報告されている。また、2009年に20歳から59歳の成人

男性を対象に実施された質問紙調査では、家族や恋人からのエイズに関する相談に対応したいと回答する人は74.5%と高い割合であったのに対し、同性愛に関する相談では52.9%と低い。本研究の結果ではMSM受検者で男性受検者に比べ、家族に相談できる・できると思う割合が有意に低いが、性感染症やHIV感染症の相談には同性間の性行為についても触れるため、家族や周囲の社会で同性愛に対する認容度が低い環境では相談しにくい状況であると考えられる。そのためMSM受検者の受診への自身の関連要因としては、自分の家族にHIVや性感染症に関して相談可能性に次ぐ、身近な友人への相談可能性や相談場所の認知がより重要な要因であると考えられる。先行研究では就労成人男性において身近な人が予防することを望むメッセージによってHIV抗体検査受検行動が促進される可能性を報告しているが、MSMをとりまく社会環境を考慮すると、家族が本人に向けた期待は逆にエイズや性感染症に関して相談しにくくなる環境となる可能性があり、予防啓発を進める場合には考慮する必要があるだろう。

またMSM受検者の受診行動への自信には、国民健康保険や職場の健康保険加入も影響しており、HIV陽性判明後の受診行動について「絶対に行く」と回答する割合は、被扶養者の健康保険加入者で57.4%、未加入者で58.3%と有意に低かった。MSM受検者における健康保険未加入割合は4.9%であり、男性受検者(2.7%)と比べ高かった($p<0.01$)。ゲイ向け商業施設利用者を対象とした質問紙調査においてもゲイ・バイセクシュアル男性における健康保険未加入割合は2.8%~4.6%とほぼ同値であった。HIV陽性者へのインターネットを利用した調査では、HIV陽性告知直後に医療費や行政・福祉の情報のニーズが高いが、実際に紙媒体で受け取っていたのは15.1%にとどまっていることが報告されており、自発的な受診行動には相談先など

の支援情報とともに、健康保険未加入などを想定した社会資源の準備を受検提供者は事前にしておく必要がある。健康保険未加入者への支援は SW 女性受検者についても未加入割合が 8.2%と高く同様のことが考えられる。

E. 結語

受検者本人が HIV 陽性判明を想定した場合の受診行動への自信には、いずれの群においても自分の家族への HIV や性感染症に関する相談可能性等、家族や周囲の社会の支援が重要な要因であることが明らかとなった。一方でエイズ予防指針において個別施策層となっている、男性同性間で性交経験のある男性や、性風俗産業に従事する女性は、自分の家族への相談はしにくい環境であり、周囲の友達の支援や相談先などの社会環境の整備が必要である。

F. 発表論文等

(論文)

1. 塩野徳史, 金子典代, 市川誠一, 山本政弘, 健山正男, 内海眞, 木村哲, 生島嗣, 鬼塚哲郎: MSM (Men who have sex with men) における HIV 抗体検査受検行動と受検意図の促進要因に関する研究, 公衆衛生雑誌, 60(10), 639-650, 2013
(学会発表)
1. Satoshi Shiono, Seiichi Ichikawa, Yuki Tada: Trends in the incidence of HIV and AIDS by decade of birth among MSM of Japanese nationality, The 11th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Bangkok, Thailand, 2013
2. Daisuke Goto, Satoshi Shiono, Toshio Machi, Tetsuro Onitsuka, Noriyo Kaneko, Seiichi Ichikawa: Effectiveness of preventive intervention related to condom use among men who have sex with men (MSM) in the Kinki area, The 11th International Congress on AIDS in Asia and the Pacific, Bangkok, Thailand, 2013
3. 牧園祐也, 荒木順子, 石田敏彦, 太田貴, 金城健, 後藤大輔, 伊藤俊広, 内海眞, 鬼塚哲郎, 山本政弘, 健山正男, 塩野徳史, 金子典代, 市川誠一: MSM向けエイズ対策としてのコミュニティセンターの意義と妥当性の検討, 第27回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013
4. 町登志雄, 後藤大輔, 鬼塚哲郎, 川畑拓也, 岳中美江, 塩野徳史, 市川誠一: MSM向け HIV検査普及プログラム「クリニック検査 1000円キャンペーン」広報についての考察, 第27回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013
5. 金子典代, 塩野徳史, 健山正男, 山本政弘, 鬼塚哲郎, 内海眞, 伊藤俊広, 岩橋恒太, 市川誠一: MSM向けインターネット横断調査に続く追跡パネル調査法の妥当性の検討, 第27回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013
6. 川畑拓也, 後藤大輔, 町登志雄, 鬼塚哲郎, 塩野徳史, 市川誠一, 岳中美江, 岩佐厚, 亀岡博, 菅野展史, 高田昌彦, 田端運久, 中村幸生, 古林敬一: 診療所を窓口とした MSM 向け HIV検査普及プログラムの改良に向けた検討, 第27回日本エイズ学会学術集会・総会, 熊本市, 2013

表1 2013年1月-9月におけるHIV抗体検査の実施状況とHIV感染者報告数の概要

| | 宮城県 (5施設) | 東京都 (16施設) | 神奈川県 (6施設) | 千葉県 (12施設) | 愛知県 (16施設) | 大阪府 (17施設) | 福岡県 (3施設) | 沖縄県 (3施設) | 合計 (78施設) |
|----------------------------------|--------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|--------------|--------------|--------------|
| HIV抗体検査受検者数 | | | | | | | | | |
| エイズ動向委員会による報告 ¹ (A) | 1,017 | 8,485 | 4,345 | 3,570 | 6,547 | 6,393 | 4,178 | 1,679 | 36,214 |
| 調査協力施設における受検者数(B) | 866 | 4,339 | 1,796 | 1,270 | 3,913 | 5,592 | 1,288 | 1,464 | 20,528 |
| エイズ発生動向委員会の検査件数報告に占める割合(B/A) | 85.2% | 51.1% | 41.3% | 35.6% | 59.8% | 87.5% | 30.8% | 87.2% | 56.7% |
| HIV感染者報告数 | | | | | | | | | |
| エイズ動向委員会による報告 ² (C) | 6 | 265 | 61 | 29 | 39 | 118 | 34 | 9 | 561 |
| 調査協力施設における陽性判明報告数(D) | 2 | 16 | 7 | 1 | 12 | 20 | 9 | 4 | 71 |
| エイズ発生動向委員会のHIV感染者報告数に占める割合(D/C) | 33.3% | 6.0% | 11.5% | 3.4% | 30.8% | 16.9% | 26.5% | 44.4% | 12.7% |
| 調査協力施設のHIV抗体検査受検者におけるHIV陽性率(D/B) | 0.23% | 0.37% | 0.39% | 0.08% | 0.31% | 0.36% | 0.70% | 0.27% | 0.35% |
| 質問紙回収数 | | | | | | | | | |
| 回収数 | 739 | 3,062 | 1,686 | 1,042 | 2,933 | 4,026 | 889 | 547 | 14,924 |
| 有効回収数 | 629 | 2,738 | 1,473 | 866 | 2,590 | 3,471 | 751 | 488 | 13,006 |
| 有効回収率 | 72.6% | 63.1% | 82.0% | 68.2% | 66.2% | 62.1% | 58.3% | 33.3% | 63.4% |
| 受検者の属性 | | | | | | | | | |
| 24歳以下の割合 | 27.0% | 22.6% | 21.5% | 21.5% | 19.8% | 23.9% | 25.3% | 23.0% | 22.6% |
| 男性割合 | 61.7% | 64.4% | 69.2% | 64.1% | 73.7% | 65.4% | 56.5% | 60.2% | 66.3% |
| MSM ^{*3} 割合 | 13.0% | 13.5% | 12.7% | 6.2% | 16.9% | 14.2% | 16.0% | 20.1% | 14.1% |
| SW ^{*4} 利用割合 | 24.5% | 28.0% | 30.5% | 28.9% | 30.5% | 28.6% | 24.5% | 21.1% | 28.3% |
| SW ^{*4} 割合 | 6.7% | 4.9% | 3.1% | 4.0% | 3.4% | 6.5% | 6.3% | 5.1% | 4.9% |
| 初受検者割合 | 61.0% | 56.2% | 51.6% | 58.8% | 55.1% | 55.9% | 55.4% | 57.6% | 55.8% |

*1 厚生労働省エイズ動向委員会による2013年1月から6月までの保健所等におけるHIV抗体検査件数

http://api-net.jfap.or.jp/status/2013/1308/20130830_kensa.pdf

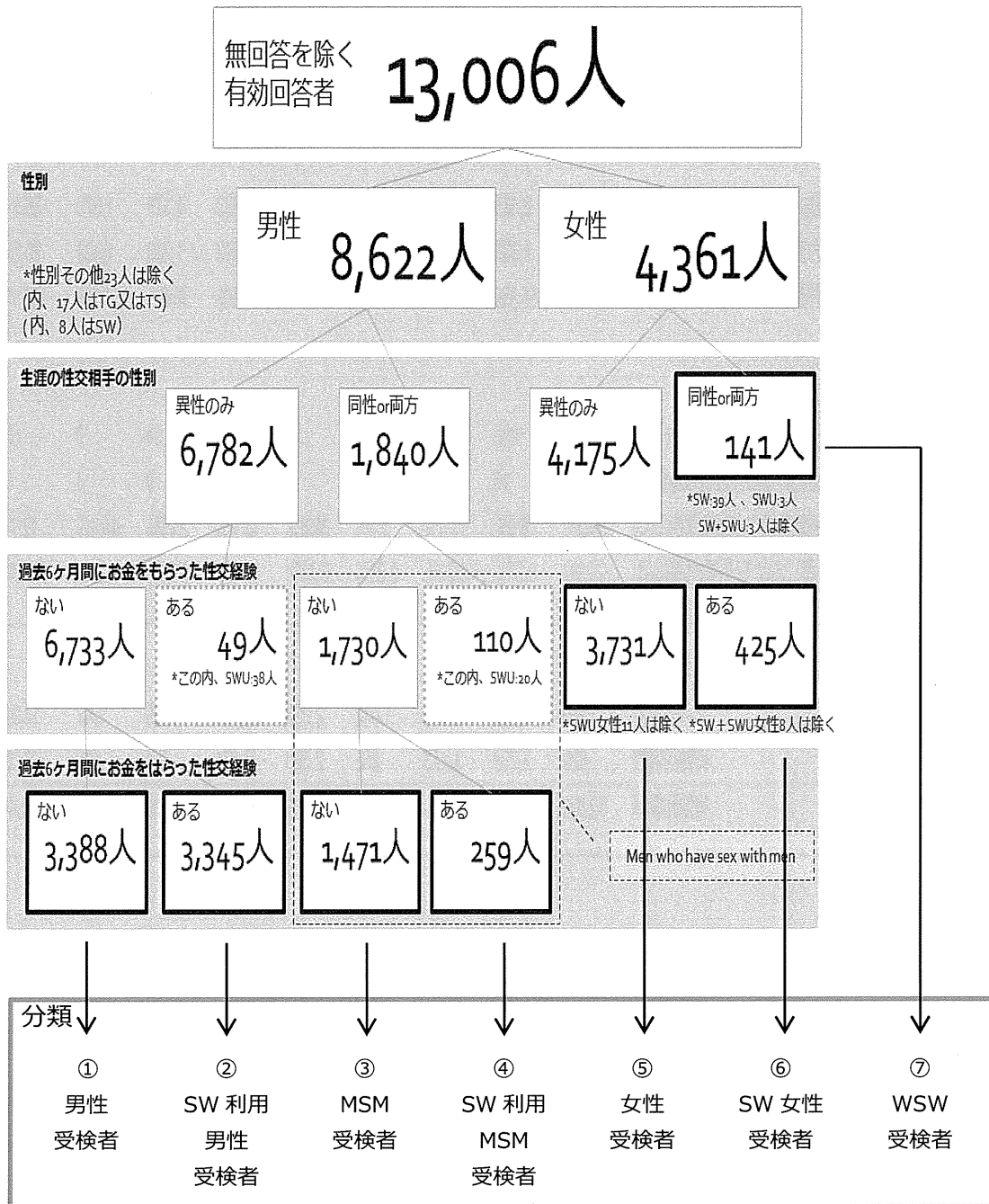
*2 厚生労働省エイズ動向委員会による2013年1月から6月までのHIV感染者及びAIDS患者の都道府県別累積報告状況(表3)

http://api-net.jfap.or.jp/status/2013/1308/20130830_hyo_03.pdf

*3 Men who have sex with men;生涯に男性と、または男性女性両方と性行為をした男性

*4 過去6ヶ月間にお金をもらった性行為をSWと定義した

図 1 性別と生涯の性交相手の性別、過去 6 ヶ月間の金銭を介した性交経験による分類



*性別について「その他」と回答した人にはトランスジェンダーや性同一障害が含まれる。

*過去 6 ヶ月間にお金をもらった性行為を SW と定義し、SW と表記している。

*過去 6 ヶ月間にお金をはらった性行為を SW 利用と定義し、SWU と表記している。

* MSM ; Men who have sex with men WSW ; Women sex with women

表2 性別と生涯の性交相手の性別、過去6ヶ月間の金銭を介した性交経験による7群の特性

| | | ①男性 | ②SW利用 | p値 ¹⁾ | ③MSM | ④SW利用 | p値 ²⁾ | ⑤女性 | ⑥SW女性 | ⑦WSW | p値 ³⁾ | p値 ⁴⁾ | p値 ⁵⁾ | p値 ⁶⁾ |
|---------------------------------|--------------------|--------|--------|------------------|--------|--------|------------------|--------|--------|-------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| | | 受検者 | 男性受検者 | | 受検者 | MSM受検者 | | 受検者 | 受検者 | 受検者 | | | | |
| | | n=3388 | n=3345 | ①-② | n=1471 | n=259 | ③-④ | n=3731 | n=425 | n=141 | ⑤-⑥ | ⑤-⑦ | ①-③ | ②-④ |
| 基本属性 | | | | | | | | | | | | | | |
| 年齢 | 24歳以下 | 18.9% | 12.3% | <0.01 | 21.7% | 10.8% | <0.01 | 32.3% | 44.2% | 39.0% | <0.01 | 0.43 | 0.05 | 0.35 |
| | 25-29歳 | 21.3% | 20.2% | | 20.7% | 15.1% | | 27.7% | 25.2% | 20.6% | | | | |
| | 30-34歳 | 19.5% | 18.9% | | 17.5% | 22.8% | | 18.1% | 13.9% | 17.0% | | | | |
| | 35-39歳 | 14.9% | 17.4% | | 15.9% | 18.5% | | 9.5% | 8.0% | 10.6% | | | | |
| | 40-44歳 | 10.0% | 11.2% | | 11.0% | 13.1% | | 6.8% | 3.8% | 8.5% | | | | |
| | 45-49歳 | 6.0% | 8.0% | | 5.5% | 7.7% | | 2.9% | 2.8% | 2.8% | | | | |
| 50歳以上 | 9.5% | 12.0% | | 7.6% | 12.0% | | 2.6% | 2.1% | 1.4% | | | | | |
| 居住地 | 該当地域(都道府県) | 91.0% | 89.2% | 0.01 | 89.3% | 89.6% | 0.88 | 93.1% | 95.1% | 95.7% | 0.13 | 0.23 | 0.06 | 0.85 |
| | それ以外の地域 | 9.0% | 10.8% | | 10.7% | 10.4% | | 6.9% | 4.9% | 4.3% | | | | |
| 居住形態 | いいえ | 65.3% | 67.6% | 0.04 | 53.0% | 59.5% | 0.06 | 69.9% | 60.0% | 66.0% | <0.01 | 0.32 | <0.01 | 0.01 |
| | はい(1人暮らし) | 34.7% | 32.4% | | 47.0% | 40.5% | | 30.1% | 40.0% | 34.0% | | | | |
| 婚姻状況 | 結婚していない | 66.0% | 59.3% | <0.01 | 92.9% | 74.5% | <0.01 | 78.6% | 88.5% | 87.2% | <0.01 | 0.01 | <0.01 | <0.01 |
| | 結婚している | 34.0% | 40.7% | | 7.1% | 25.5% | | 21.4% | 11.5% | 12.8% | | | | |
| 健康保険加入状況 | 国民健康保険または職場の健康保険 | 88.0% | 93.4% | <0.01 | 83.6% | 93.4% | <0.01 | 72.7% | 62.4% | 67.4% | <0.01 | 0.32 | <0.01 | <0.01 |
| | 被扶養者の健康保険 | 9.3% | 5.3% | | 11.5% | 2.3% | | 24.4% | 29.4% | 28.4% | | | | |
| | 未加入 | 2.7% | 1.3% | | 4.9% | 4.2% | | 2.9% | 8.2% | 4.3% | | | | |
| HIV抗体検査受検経験 | ある(再受検) | 36.0% | 46.0% | <0.01 | 72.5% | 63.3% | <0.01 | 35.6% | 48.7% | 48.9% | <0.01 | <0.01 | <0.01 | <0.01 |
| | ない(初受検) | 64.0% | 54.0% | | 27.5% | 36.7% | | 64.4% | 51.3% | 51.1% | | | | |
| HIVや検査に関する知識 | | | | | | | | | | | | | | |
| ウインドウピリオドについて | 誤答/わからない | 15.1% | 11.2% | <0.01 | 9.5% | 6.9% | 0.19 | 13.7% | 16.5% | 6.4% | 0.12 | 0.01 | <0.01 | 0.04 |
| | 正答 | 84.9% | 88.8% | | 90.5% | 93.1% | | 86.3% | 83.5% | 93.6% | | | | |
| 偽陽性の可能性について | 誤答/わからない | 45.7% | 43.8% | 0.10 | 34.6% | 34.7% | 0.96 | 53.1% | 57.2% | 50.4% | 0.11 | 0.52 | <0.01 | 0.01 |
| | 正答 | 54.3% | 56.2% | | 65.4% | 65.3% | | 46.9% | 42.8% | 49.6% | | | | |
| 確認検査の必要性について | 誤答/わからない | 30.0% | 29.4% | 0.59 | 20.5% | 18.9% | 0.57 | 31.5% | 32.7% | 26.2% | 0.60 | 0.19 | <0.01 | <0.01 |
| | 正答 | 70.0% | 70.6% | | 79.5% | 81.1% | | 68.5% | 67.3% | 73.8% | | | | |
| 重複感染について | 誤答/わからない | 32.1% | 24.3% | <0.01 | 24.9% | 20.5% | 0.12 | 34.7% | 22.4% | 32.6% | <0.01 | 0.61 | <0.01 | 0.16 |
| | 正答 | 67.9% | 75.7% | | 75.1% | 79.5% | | 65.3% | 77.6% | 67.4% | | | | |
| 服薬治療について | 誤答/わからない | 22.2% | 16.7% | <0.01 | 13.1% | 12.0% | 0.63 | 25.2% | 28.5% | 15.6% | 0.14 | 0.01 | <0.01 | 0.05 |
| | 正答 | 77.8% | 83.3% | | 86.9% | 88.0% | | 74.8% | 71.5% | 84.4% | | | | |
| HIVに関する意識や相談先 | | | | | | | | | | | | | | |
| 周囲のHIV感染者の有無 | いない/いないと思う | 67.9% | 74.9% | <0.01 | 45.8% | 59.1% | <0.01 | 69.4% | 64.0% | 62.4% | <0.01 | 0.02 | <0.01 | <0.01 |
| | わからない | 23.5% | 19.0% | | 12.8% | 16.6% | | 21.3% | 21.2% | 21.3% | | | | |
| | いる/いると思う | 8.6% | 6.1% | | 41.3% | 24.3% | | 9.3% | 14.8% | 16.3% | | | | |
| 過去6ヶ月間のHIV感染不安経験 | まったくなかった/あまりなかった | 74.1% | 58.7% | <0.01 | 56.4% | 48.6% | 0.02 | 72.6% | 50.8% | 67.4% | <0.01 | 0.18 | <0.01 | <0.01 |
| | よくあった/時々あった | 25.9% | 41.3% | | 43.6% | 51.4% | | 27.4% | 49.2% | 32.6% | | | | |
| 自分の家族へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 56.4% | 68.6% | <0.01 | 77.7% | 76.8% | 0.76 | 57.3% | 74.1% | 51.8% | <0.01 | 0.19 | <0.01 | 0.01 |
| | できる/できると思う | 43.6% | 31.4% | | 22.3% | 23.2% | | 42.7% | 25.9% | 48.2% | | | | |
| 身近な友達へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 63.8% | 70.4% | <0.01 | 45.5% | 67.6% | <0.01 | 56.8% | 57.4% | 43.3% | 0.81 | <0.01 | <0.01 | 0.33 |
| | できる/できると思う | 36.2% | 29.6% | | 54.5% | 32.4% | | 43.2% | 42.6% | 56.7% | | | | |
| 相談場所(電話相談など)の認知 | 知らない | 54.3% | 53.7% | 0.61 | 37.2% | 42.5% | 0.11 | 57.9% | 57.6% | 53.2% | 0.91 | 0.26 | <0.01 | <0.01 |
| | 知っている | 45.7% | 46.3% | | 62.8% | 57.5% | | 42.1% | 42.4% | 46.8% | | | | |
| 性感染症および予防行動 | | | | | | | | | | | | | | |
| 性感染症既往歴 | ない | 85.6% | 79.0% | <0.01 | 70.8% | 69.9% | 0.77 | 69.1% | 47.3% | 68.8% | <0.01 | 0.93 | <0.01 | <0.01 |
| | ある | 14.4% | 21.0% | | 29.2% | 30.1% | | 30.9% | 52.7% | 31.2% | | | | |
| 特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 100.0% | 100.0% | - | 28.6% | 41.7% | 0.42* | 37.5% | 20.0% | 51.1% | 0.22* | 0.92* | - | - |
| | 常用 | 0.0% | 0.0% | | 20.0% | 18.1% | | 13.0% | 14.4% | 9.9% | | | | |
| 特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 100.0% | 100.0% | - | 33.9% | 38.2% | 0.04* | 71.6% | 20.7% | 68.8% | 0.16* | 0.33* | - | - |
| | 常用 | 0.0% | 0.0% | | 22.9% | 26.6% | | 6.6% | 21.4% | 9.2% | | | | |
| 特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 53.4% | 49.2% | 0.68* | 80.9% | 49.4% | 0.74* | 100.0% | 100.0% | 87.9% | - | - | 0.49* | 0.79* |
| | 常用 | 15.4% | 16.5% | | 6.7% | 17.0% | | 0.0% | 0.0% | 2.1% | | | | |
| 特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 31.2% | 34.3% | | 12.4% | 33.6% | | 0.0% | 0.0% | 9.9% | | | | |
| | 常用 | 74.1% | 39.0% | 0.02* | 85.0% | 48.6% | 0.21* | 100.0% | 100.0% | 90.8% | - | - | 0.56* | 1.00* |
| | 常用 | 9.3% | 24.8% | | 5.1% | 20.8% | | 0.0% | 0.0% | 1.4% | | | | |
| | 非常用 | 16.6% | 36.2% | | 9.9% | 30.5% | | 0.0% | 0.0% | 7.8% | | | | |
| 受診への自信 | | | | | | | | | | | | | | |
| 多分、行けると思う/多分、行けないと思う/絶対行けない | 必ず行く | 27.6% | 30.1% | 0.02 | 31.3% | 25.1% | 0.04 | 23.5% | 28.9% | 19.9% | 0.94 | 0.32 | 0.01 | 0.09 |
| | 必ず行く | 72.4% | 69.9% | | 68.7% | 74.9% | | 76.5% | 71.1% | 80.1% | | | | |

1) 男性受検者とSW利用男性受検者の2群間のクロス集計における有意差。Pearsonのカイ2乗検定によるp値を示した。

2) MSM受検者とSW利用MSM受検者の2群間のクロス集計における有意差。Pearsonのカイ2乗検定によるp値を示した。

3) 女性受検者とSW女性受検者の2群間のクロス集計における有意差。Pearsonのカイ2乗検定によるp値を示した。

4) 女性受検者とWSW受検者の2群間のクロス集計における有意差。Pearsonのカイ2乗検定によるp値を示した。

5) 男性受検者とMSM受検者の2群間のクロス集計における有意差。Pearsonのカイ2乗検定によるp値を示した。

6) SW利用男性受検者とSW利用MSM受検者の2群間のクロス集計における有意差。Pearsonのカイ2乗検定によるp値を示した。

*コンドーム使用状況については、相手別に過去6ヶ月間に膣性交や肛門性交経験がなかった人を除き、経験を有する人のみで有意差を算出した。

表3 男性受検者(n=3,388)における「受診に対する自信」との関連要因

| | N | 受診に対する自信 | | 調整前 オッズ比 | 95% 信頼区間 | | 調整後 オッズ比 * | 95% 信頼区間 | |
|---------------------------------|--------------------|-------------|-------|-------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----|
| | | 絶対 行けない等 | 必ず行く | | 下限 | 上限 | | 下限 | 上限 |
| 基本属性 | | | | | | | | | |
| 年齢 | 24歳以下 | 639 | 29.4% | 70.6% | 1 | | 1 | | |
| | 25-29歳 | 720 | 25.0% | 75.0% | 1.25 | 0.98 - 1.59 | 1.25 | 0.97 - 1.59 | |
| | 30-34歳 | 659 | 27.5% | 72.5% | 1.10 | 0.87 - 1.40 | 1.09 | 0.85 - 1.40 | |
| | 35-39歳 | 506 | 27.9% | 72.1% | 1.08 | 0.83 - 1.40 | 1.10 | 0.84 - 1.44 | |
| | 40-44歳 | 339 | 32.7% | 67.3% | 0.86 | 0.65 - 1.14 | 0.87 | 0.65 - 1.17 | |
| | 45-49歳 | 203 | 30.5% | 69.5% | 0.95 | 0.67 - 1.34 | 0.96 | 0.67 - 1.36 | |
| 50歳以上 | 322 | 22.0% | 78.0% | 1.47 | 1.08 - 2.02 | 1.52 | 1.11 - 2.10 | | |
| 居住地 | 該当地域(都道府県) | 3,083 | 27.6% | 72.4% | 1 | | | | |
| | それ以外の地域 | 305 | 26.9% | 73.1% | 1.04 | 0.80 - 1.35 | | | |
| 居住形態 | いいえ | 2,212 | 28.0% | 72.0% | 1 | | | | |
| | はい(1人暮らし) | 1,176 | 26.8% | 73.2% | 1.06 | 0.91 - 1.25 | | | |
| 婚姻状況 | 結婚していない | 2,235 | 28.1% | 71.9% | 1 | | | | |
| | 結婚している | 1,153 | 26.5% | 73.5% | 1.08 | 0.92 - 1.27 | | | |
| 健康保険加入状況 | 国民健康保険または職場の健康保険 | 2,982 | 27.2% | 72.8% | 1 | | | | |
| | 被扶養者の健康保険 | 314 | 29.3% | 70.7% | 0.90 | 0.70 - 1.16 | | | |
| | 未加入 | 92 | 33.7% | 66.3% | 0.74 | 0.47 - 1.14 | | | |
| HIV抗体検査受検経験 | ある(再受検) | 1,220 | 28.3% | 71.7% | 1 | | | | |
| | ない(初受検) | 2,168 | 27.2% | 72.8% | 1.06 | 0.90 - 1.24 | | | |
| HIVや検査に関する知識 | | | | | | | | | |
| ウィンドウピリオドについて | 誤答/わからない | 513 | 28.3% | 71.7% | 1 | | | | |
| | 正答 | 2,875 | 27.4% | 72.6% | 1.04 | 0.85 - 1.28 | | | |
| 偽陽性の可能性について | 誤答/わからない | 1,550 | 26.8% | 73.2% | 1 | | | | |
| | 正答 | 1,838 | 28.2% | 71.8% | 0.94 | 0.80 - 1.09 | | | |
| 確認検査の必要性について | 誤答/わからない | 1,015 | 28.3% | 71.7% | 1 | | | | |
| | 正答 | 2,373 | 27.3% | 72.7% | 1.05 | 0.89 - 1.24 | | | |
| 重複感染について | 誤答/わからない | 1,086 | 26.7% | 73.3% | 1 | | | | |
| | 正答 | 2,302 | 28.0% | 72.0% | 0.94 | 0.80 - 1.10 | | | |
| 服薬治療について | 誤答/わからない | 752 | 29.7% | 70.3% | 1 | | | | |
| | 正答 | 2,636 | 27.0% | 73.0% | 1.14 | 0.96 - 1.36 | | | |
| HIVに関する意識や相談先 | | | | | | | | | |
| 周囲のHIV感染者の有無 | いない/いないと思う | 2,299 | 28.1% | 71.9% | 1 | | | | |
| | わからない | 797 | 27.7% | 72.3% | 1.02 | 0.85 - 1.22 | | | |
| | いる/いると思う | 292 | 23.3% | 76.7% | 1.29 | 0.97 - 1.71 | | | |
| 過去6ヶ月間のHIV感染不安経験 | まったくなかった/あまりなかった | 2,512 | 26.1% | 73.9% | 1 | | 1 | | |
| | よくあった/時々あった | 876 | 31.8% | 68.2% | 0.76 | 0.64 - 0.89 | 0.83 | 0.70 - 0.99 | |
| 自分の家族へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 1,911 | 35.0% | 65.0% | 1 | | 1 | | |
| | できる/できると思う | 1,477 | 18.0% | 82.0% | 2.45 | 2.08 - 2.88 | 2.18 | 1.82 - 2.61 | |
| 身近な友達へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 2,160 | 31.7% | 68.3% | 1 | | 1 | | |
| | できる/できると思う | 1,228 | 20.3% | 79.7% | 1.83 | 1.55 - 2.16 | 1.29 | 1.07 - 1.55 | |
| 相談場所(電話相談など)の認知 | 知らない | 1,840 | 30.2% | 69.8% | 1 | | 1 | | |
| | 知っている | 1,548 | 24.4% | 75.6% | 1.34 | 1.15 - 1.56 | 1.37 | 1.17 - 1.60 | |
| 性感染症および予防行動 | | | | | | | | | |
| 性感染症既往歴 | ない | 2,900 | 27.8% | 72.2% | 1 | | | | |
| | ある | 488 | 26.2% | 73.8% | 1.08 | 0.87 - 1.35 | | | |
| 特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 3,388 | 27.6% | 72.4% | - | | | | |
| | 常用 | | | | | | | | |
| 特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 3,388 | 27.6% | 72.4% | - | | | | |
| | 常用 | | | | | | | | |
| 特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 1,808 | 27.2% | 72.8% | 1 | | | | |
| | 常用 | 523 | 25.6% | 74.4% | 1.08 | 0.87 - 1.35 | | | |
| | 非常用 | 1,057 | 29.2% | 70.8% | 0.93 | 0.76 - 1.07 | | | |
| 特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 2,511 | 26.6% | 73.4% | 1 | | ns | | |
| | 常用 | 316 | 32.3% | 67.7% | 0.76 | 0.59 - 0.98 | | | |
| | 非常用 | 561 | 29.1% | 70.9% | 0.89 | 0.72 - 1.09 | | | |

*「仮に検査であなたがHIVに感染していることがわかったとき、病院に行くことについてどう思いますか?」の質問に対して「必ず行ける」と回答した群を1、「多分、行ける」「多分、行けない」「絶対行けない」と回答した群を0とした従属変数による変数減少法ステップワイズ(Wald)による多重ロジスティック回帰分析。従属変数と各項目間の単回帰分析によって有意差のあったものを独立変数として投入した。 ns;not significant

表 4 SW 利用男性受検者(n=3,345)における「受診に対する自信」との関連要因

| | | N | 受診に対する自信 | | 調整前 オッズ比 | 95% 信頼区間 | | 調整後 オッズ比 * | 95% 信頼区間 | |
|---------------------------------|--------------------|------------|-------------|-------|-------------|----------|------|------------------|----------|------|
| | | | 絶対 行けない等 | 必ず行く | | 下限 | 上限 | | 下限 | 上限 |
| 基本属性 | | | | | | | | | | |
| 年齢 | 24歳以下 | 412 | 32.5% | 67.5% | 1 | | | 1 | | |
| | 25-29歳 | 677 | 28.1% | 71.9% | 1.24 | 0.95 | 1.61 | 1.33 | 1.01 | 1.75 |
| | 30-34歳 | 631 | 31.9% | 68.1% | 1.03 | 0.79 | 1.35 | 1.15 | 0.87 | 1.52 |
| | 35-39歳 | 582 | 32.3% | 67.7% | 1.01 | 0.77 | 1.32 | 1.17 | 0.88 | 1.56 |
| | 40-44歳 | 373 | 34.6% | 65.4% | 0.91 | 0.68 | 1.23 | 1.10 | 0.81 | 1.50 |
| | 45-49歳 | 268 | 26.5% | 73.5% | 1.34 | 0.95 | 1.88 | 1.50 | 1.05 | 2.13 |
| 50歳以上 | 402 | 23.4% | 76.6% | 1.58 | 1.16 | 2.15 | 1.87 | 1.35 | 2.59 | |
| | 居住地 | 該当地域(都道府県) | 2,984 | 29.8% | 70.2% | 1 | | | | |
| | それ以外の地域 | 361 | 33.0% | 67.0% | 0.86 | 0.68 | 1.09 | | | |
| 居住形態 | いいえ | 2,262 | 30.2% | 69.8% | 1 | | | | | |
| | はい(1人暮らし) | 1,083 | 29.9% | 70.1% | 1.01 | 0.87 | 1.19 | | | |
| 婚姻状況 | 結婚していない | 1,983 | 31.2% | 68.8% | 1 | | | | | |
| | 結婚している | 1,362 | 28.6% | 71.4% | 1.13 | 0.97 | 1.32 | | | |
| 健康保険加入状況 | 国民健康保険または職場の健康保険 | 3,125 | 30.0% | 70.0% | 1 | | | | | |
| | 被扶養者の健康保険 | 176 | 31.8% | 68.2% | 0.92 | 0.66 | 1.27 | | | |
| | 未加入 | 44 | 34.1% | 65.9% | 0.83 | 0.44 | 1.55 | | | |
| HIV抗体検査受検経験 | ある(再受検) | 1,538 | 30.2% | 69.8% | 1 | | | | | |
| | ない(初受検) | 1,807 | 30.0% | 70.0% | 1.01 | 0.87 | 1.17 | | | |
| HIVや検査に関する知識 | | | | | | | | | | |
| ウインドウピリオドについて | 誤答/わからない | 374 | 30.5% | 69.5% | 1 | | | | | |
| | 正答 | 2,971 | 30.1% | 69.9% | 1.02 | 0.81 | 1.29 | | | |
| 偽陽性の可能性について | 誤答/わからない | 1,464 | 28.3% | 71.7% | 1 | | | | | |
| | 正答 | 1,881 | 31.5% | 68.5% | 0.86 | 0.74 | 1.00 | | | |
| 確認検査の必要性について | 誤答/わからない | 982 | 31.6% | 68.4% | 1 | | | | | |
| | 正答 | 2,363 | 29.5% | 70.5% | 1.10 | 0.94 | 1.30 | | | |
| 重複感染について | 誤答/わからない | 814 | 29.6% | 70.4% | 1 | | | | | |
| | 正答 | 2,531 | 30.3% | 69.7% | 0.97 | 0.82 | 1.15 | | | |
| 服薬治療について | 誤答/わからない | 559 | 35.1% | 64.9% | 1 | | | 1 | | |
| | 正答 | 2,786 | 29.1% | 70.9% | 1.32 | 1.09 | 1.59 | 1.27 | 1.04 | 1.56 |
| HIVに関する意識や相談先 | | | | | | | | | | |
| 周囲のHIV感染者の有無 | いない/いないと思う | 2,504 | 30.3% | 69.7% | 1 | | | | | |
| | わからない | 637 | 30.8% | 69.2% | 0.98 | 0.81 | 1.18 | | | |
| | いる/いると思う | 204 | 25.5% | 74.5% | 1.27 | 0.92 | 1.76 | | | |
| 過去6ヶ月間のHIV感染不安経験 | まったくなかった/あまりなかった | 1,964 | 28.9% | 71.1% | 1 | | | | | |
| | よくあった/時々あった | 1,381 | 31.9% | 68.1% | 0.87 | 0.75 | 1.01 | | | |
| 自分の家族へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 2,295 | 36.1% | 63.9% | 1 | | | 1 | | |
| | できる/できると思う | 1,050 | 17.0% | 83.0% | 2.75 | 2.29 | 3.30 | 2.39 | 1.97 | 2.89 |
| 身近な友達へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 2,356 | 34.5% | 65.5% | 1 | | | 1 | | |
| | できる/できると思う | 989 | 19.7% | 80.3% | 2.14 | 1.79 | 2.56 | 1.70 | 1.40 | 2.06 |
| 相談場所(電話相談など)の認知 | 知らない | 1,796 | 33.2% | 66.8% | 1 | | | 1 | | |
| | 知っている | 1,549 | 26.5% | 73.5% | 1.38 | 1.19 | 1.61 | 1.32 | 1.13 | 1.54 |
| 性感染症および予防行動 | | | | | | | | | | |
| 性感染症既往歴 | ない | 2,642 | 31.2% | 68.8% | 1 | | | 1 | | |
| | ある | 703 | 26.0% | 74.0% | 1.29 | 1.07 | 1.55 | 1.27 | 1.04 | 1.54 |
| 特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 3,345 | 30.1% | 69.9% | - | | | | | |
| | 常用 | | | | | | | | | |
| | 非常用 | | | | | | | | | |
| 特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 3,345 | 30.1% | 69.9% | - | | | | | |
| | 常用 | | | | | | | | | |
| | 非常用 | | | | | | | | | |
| 特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 1,646 | 32.6% | 67.4% | 1 | | | 1 | | |
| | 常用 | 551 | 27.2% | 72.8% | 1.29 | 1.05 | 1.60 | 1.37 | 1.09 | 1.70 |
| | 非常用 | 1,148 | 27.9% | 72.1% | 1.25 | 1.06 | 1.48 | 1.22 | 1.03 | 1.45 |
| 特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 1,304 | 31.7% | 68.3% | 1 | | | | | |
| | 常用 | 829 | 30.2% | 69.8% | 1.07 | 0.89 | 1.30 | | | |
| | 非常用 | 1,212 | 28.4% | 71.6% | 1.17 | 0.99 | 1.06 | | | |

*「仮に検査であなたがHIVに感染していることがわかったとき、病院に行くことについてどう思いますか?」の質問に対して「必ず行ける」と回答した群を1、「多分、行ける」「多分、行けない」「絶対行けない」と回答した群を0とした従属変数による変数減少法ステップワイズ(Wald)による多重ロジスティック回帰分析。従属変数と各項目間の単回帰分析によって有意差のあったものを独立変数として投入した。

表5 MSM受検者(n=1,471)における「受診に対する自信」との関連要因

| | N | 受診に対する自信 | | 調整前 オッズ比 | 95%信頼区間 | | 調整後 オッズ比 * | 95%信頼区間 | |
|---------------------------------|--------------------|-------------|-------|-------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----|
| | | 絶対 行けない等 | 必ず行く | | 下限 | 上限 | | 下限 | 上限 |
| 基本属性 | | | | | | | | | |
| 年齢 | 24歳以下 | 319 | 37.9% | 62.1% | 1 | | 1 | | |
| | 25-29歳 | 305 | 35.7% | 64.3% | 1.10 | 0.79 - 1.52 | 0.96 | 0.67 - 1.38 | |
| | 30-34歳 | 258 | 29.8% | 70.2% | 1.44 | 1.01 - 2.04 | 1.07 | 0.72 - 1.60 | |
| | 35-39歳 | 234 | 25.6% | 74.4% | 1.77 | 1.22 - 2.57 | 1.36 | 0.90 - 2.05 | |
| | 40-44歳 | 162 | 26.5% | 73.5% | 1.69 | 1.12 - 2.56 | 1.33 | 0.83 - 2.12 | |
| | 45-49歳 | 81 | 29.6% | 70.4% | 1.45 | 0.86 - 2.46 | 1.04 | 0.59 - 1.85 | |
| 50歳以上 | 112 | 24.1% | 75.9% | 1.92 | 1.18 - 3.14 | 1.83 | 1.08 - 3.13 | | |
| 居住地 | 該当地域(都道府県) | 1,313 | 31.5% | 68.5% | 1 | | | | |
| | それ以外の地域 | 158 | 29.7% | 70.3% | 1.09 | 0.76 - 1.56 | | | |
| 居住形態 | いいえ | 780 | 32.8% | 67.2% | 1 | | | | |
| | はい(1人暮らし) | 691 | 29.7% | 70.3% | 1.16 | 0.93 - 1.45 | | | |
| 婚姻状況 | 結婚していない | 1,367 | 31.0% | 69.0% | 1 | | | | |
| | 結婚している | 104 | 35.6% | 64.4% | 0.81 | 0.54 - 1.24 | | | |
| 健康保険加入状況 | 国民健康保険または職場の健康保険 | 1,230 | 29.2% | 70.8% | 1 | | 1 | | |
| | 被扶養者の健康保険 | 169 | 42.6% | 57.4% | 0.56 | 0.40 - 0.77 | 0.63 | 0.43 - 0.92 | |
| | 未加入 | 72 | 41.7% | 58.3% | 0.58 | 0.36 - 0.94 | 0.54 | 0.33 - 0.91 | |
| HIV抗体検査受検経験 | ある(再受検) | 1,066 | 28.7% | 71.3% | 1 | | 1 | | |
| | ない(初受検) | 405 | 38.3% | 61.7% | 0.65 | 0.51 - 0.83 | 0.80 | 0.62 - 1.05 | |
| HIVや検査に関する知識 | | | | | | | | | |
| ウィンドウピリオドについて | 誤答/わからない | 140 | 30.0% | 70.0% | 1 | | | | |
| | 正答 | 1,331 | 31.5% | 68.5% | 0.93 | 0.64 - 1.36 | | | |
| 偽陽性の可能性について | 誤答/わからない | 509 | 32.6% | 67.4% | 1 | | | | |
| | 正答 | 962 | 30.7% | 69.3% | 1.09 | 0.87 - 1.38 | | | |
| 確認検査の必要性について | 誤答/わからない | 301 | 34.9% | 65.1% | 1 | | | | |
| | 正答 | 1,170 | 30.4% | 69.6% | 1.23 | 0.94 - 1.60 | | | |
| 重複感染について | 誤答/わからない | 367 | 32.7% | 67.3% | 1 | | | | |
| | 正答 | 1,104 | 30.9% | 69.1% | 1.09 | 0.84 - 1.40 | | | |
| 服薬治療について | 誤答/わからない | 192 | 39.6% | 60.4% | 1 | | 1 | | |
| | 正答 | 1,279 | 30.1% | 69.9% | 1.52 | 1.11 - 2.08 | 1.27 | 0.91 - 1.77 | |
| HIVに関する意識や相談先 | | | | | | | | | |
| 周囲のHIV感染者の有無 | いない/いないと思う | 674 | 34.0% | 66.0% | 1 | | | | |
| | わからない | 189 | 36.0% | 64.0% | 0.92 | 0.65 - 1.28 | | | |
| | いる/いると思う | 608 | 27.0% | 73.0% | 1.39 | 1.10 - 1.77 | | | |
| 過去6ヶ月間のHIV感染不安経験 | まったくなかった/あまりなかった | 830 | 29.3% | 70.7% | 1 | | | | |
| | よくあった/時々あった | 641 | 34.0% | 66.0% | 0.80 | 0.64 - 1.00 | | | |
| 自分の家族へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 1,143 | 36.0% | 64.0% | 1 | | 1 | | |
| | できる/できると思う | 328 | 15.2% | 84.8% | 3.12 | 2.26 - 4.32 | 2.70 | 1.92 - 3.79 | |
| 身近な友達へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 669 | 41.0% | 59.0% | 1 | | 1 | | |
| | できる/できると思う | 802 | 23.3% | 76.7% | 2.28 | 1.82 - 2.86 | 1.81 | 1.43 - 2.30 | |
| 相談場所(電話相談など)の認知 | 知らない | 547 | 39.1% | 60.9% | 1 | | 1 | | |
| | 知っている | 924 | 26.7% | 73.3% | 1.76 | 1.41 - 2.21 | 1.58 | 1.24 - 2.01 | |
| 性感染症および予防行動 | | | | | | | | | |
| 性感染症既往歴 | ない | 1,041 | 32.6% | 67.4% | 1 | | | | |
| | ある | 430 | 28.4% | 71.6% | 1.22 | 0.95 - 1.56 | | | |
| 特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 420 | 31.9% | 68.1% | 1 | | | | |
| | 常用 | 294 | 28.6% | 71.4% | 1.17 | 0.85 - 1.62 | | | |
| 特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 非常用 | 757 | 32.1% | 67.9% | 0.99 | 0.77 - 1.28 | | | |
| | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 498 | 30.9% | 69.1% | 1 | | | | |
| 特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 常用 | 337 | 27.0% | 73.0% | 1.21 | 0.89 - 1.64 | | | |
| | 非常用 | 636 | 34.0% | 66.0% | 0.87 | 0.68 - 1.12 | | | |
| 特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 1,190 | 31.1% | 68.9% | 1 | | | | |
| | 常用 | 99 | 35.4% | 64.6% | 0.83 | 0.54 - 1.27 | | | |
| 特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 非常用 | 182 | 30.8% | 69.2% | 1.02 | 0.72 - 1.42 | | | |
| | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 1,250 | 31.8% | 68.2% | 1 | | | | |
| 過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 常用 | 75 | 29.3% | 70.7% | 1.13 | 0.68 - 1.88 | | | |
| | 非常用 | 146 | 28.1% | 71.9% | 1.20 | 0.82 - 1.75 | | | |

*「仮に検査であなたがHIVに感染していることがわかったとき、病院に行くことについてどう思いますか?」の質問に対して「必ず行ける」と回答した群を1、「多分、行ける」「多分、行けない」「絶対行けない」と回答した群を0とした従属変数による変数減少法ステップワイズ(Wald)による多重ロジスティック回帰分析。従属変数と各項目間の単回帰分析によって有意差のあったものを独立変数として投入した。

表6 SW 利用 MSM 受検者(n=259)における「受診に対する自信」との関連要因

| | N | 受診に対する自信 | | 調整前 オッズ比 | 95% 信頼区間 | | 調整後 オッズ比 * | 95% 信頼区間 | |
|---------------------------------|--------------------|-------------|-------|-------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----|
| | | 絶対 行けない等 | 必ず行く | | 下限 | 上限 | | 下限 | 上限 |
| 基本属性 | | | | | | | | | |
| 年齢 | 24歳以下 | 28 | 32.1% | 67.9% | 1 | | | | |
| | 25-29歳 | 39 | 20.5% | 79.5% | 1.84 | 0.61 - 5.57 | | | |
| | 30-34歳 | 59 | 20.3% | 79.7% | 1.86 | 0.67 - 5.12 | | | |
| | 35-39歳 | 48 | 33.3% | 66.7% | 0.95 | 0.35 - 2.56 | | | |
| | 40-44歳 | 34 | 26.5% | 73.5% | 1.32 | 0.44 - 3.95 | | | |
| | 45-49歳 | 20 | 25.0% | 75.0% | 1.42 | 0.39 - 5.14 | | | |
| | 50歳以上 | 31 | 19.4% | 80.6% | 1.97 | 0.60 - 6.51 | | | |
| 居住地 | 該当地域(都道府県) | 232 | 22.8% | 77.2% | 1 | | 1 | | |
| | それ以外の地域 | 27 | 44.4% | 55.6% | 0.37 | 0.16 - 0.84 | 0.38 | 0.16 - 0.90 | |
| 居住形態 | いいえ | 154 | 29.9% | 70.1% | 1 | | 1 | | |
| 婚姻状況 | はい(1人暮らし) | 105 | 18.1% | 81.9% | 1.93 | 1.05 - 3.53 | 2.07 | 1.07 - 3.99 | |
| | 結婚していない | 193 | 24.4% | 75.6% | 1 | | | | |
| 健康保険加入状況 | 結婚している | 66 | 27.3% | 72.7% | 0.86 | 0.46 - 1.62 | | | |
| | 国民健康保険または職場の健康保険 | 242 | 23.6% | 76.4% | 1 | | 1 | | |
| | 被扶養者の健康保険 | 6 | 83.3% | 16.7% | 0.06 | 0.01 - 0.54 | 0.08 | 0.01 - 0.76 | |
| HIV抗体検査受検経験 | 未加入 | 11 | 27.3% | 72.7% | 0.82 | 0.21 - 3.20 | 0.70 | 0.17 - 2.93 | |
| | ある(再受検) | 164 | 24.4% | 75.6% | 1 | | | | |
| | ない(初受検) | 95 | 26.3% | 73.7% | 0.90 | 0.51 - 1.61 | | | |
| HIVや検査に関する知識 | | | | | | | | | |
| ウインドウピリオドについて | 誤答/わからない | 18 | 33.3% | 66.7% | 1 | | | | |
| | 正答 | 241 | 24.5% | 75.5% | 1.54 | 0.55 - 4.29 | | | |
| 偽陽性の可能性について | 誤答/わからない | 90 | 25.6% | 74.4% | 1 | | | | |
| | 正答 | 169 | 24.9% | 75.1% | 1.04 | 0.58 - 1.87 | | | |
| 確認検査の必要性について | 誤答/わからない | 49 | 22.4% | 77.6% | 1 | | | | |
| | 正答 | 210 | 25.7% | 74.3% | 0.84 | 0.40 - 1.75 | | | |
| 重複感染について | 誤答/わからない | 53 | 17.0% | 83.0% | 1 | | | | |
| | 正答 | 206 | 27.2% | 72.8% | 0.55 | 0.25 - 1.20 | | | |
| 服薬治療について | 誤答/わからない | 31 | 38.7% | 61.3% | 1 | | | | |
| | 正答 | 228 | 23.2% | 76.8% | 2.09 | 0.95 - 4.57 | | | |
| HIVに関する意識や相談先 | | | | | | | | | |
| 周囲のHIV感染者の有無 | いない/いないと思う | 153 | 26.1% | 73.9% | 1 | | | | |
| | わからない | 43 | 34.9% | 65.1% | 0.66 | 0.32 - 1.36 | | | |
| | いる/いると思う | 63 | 15.9% | 84.1% | 1.88 | 0.87 - 4.04 | | | |
| 過去6ヶ月間のHIV感染不安経験 | まったくなかった/あまりなかった | 126 | 24.6% | 75.4% | 1 | | | | |
| | よくあった/時々あった | 133 | 25.6% | 74.4% | 0.95 | 0.54 - 1.67 | | | |
| 自分の家族へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 199 | 27.1% | 72.9% | 1 | | | | |
| | できる/できると思う | 60 | 18.3% | 81.7% | 1.66 | 0.80 - 3.42 | | | |
| 身近な友達へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 175 | 29.7% | 70.3% | 1 | | 1 | | |
| | できる/できると思う | 84 | 15.5% | 84.5% | 2.31 | 1.18 - 4.53 | 2.12 | 1.03 - 4.36 | |
| 相談場所(電話相談など)の認知 | 知らない | 110 | 29.1% | 70.9% | 1 | | | | |
| | 知っている | 149 | 22.1% | 77.9% | 1.44 | 0.82 - 2.54 | | | |
| 性感染症および予防行動 | | | | | | | | | |
| 性感染症既往歴 | ない | 181 | 26.0% | 74.0% | 1 | | | | |
| | ある | 78 | 23.1% | 76.9% | 1.17 | 0.63 - 2.18 | | | |
| 特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 108 | 18.5% | 81.5% | 1 | | ns | | |
| | 常用 | 47 | 40.4% | 59.6% | 0.34 | 0.16 - 0.72 | | | |
| 特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 非常用 | 104 | 25.0% | 75.0% | 0.68 | 0.35 - 1.32 | | | |
| | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 99 | 18.2% | 81.8% | 1 | | 1 | | |
| 常用 | 69 | 40.6% | 59.4% | 0.33 | 0.16 - 0.66 | 0.34 | 0.16 - 0.72 | | |
| | 非常用 | 91 | 20.9% | 79.1% | 0.84 | 0.41 - 1.73 | 0.74 | 0.35 - 1.58 | |
| 特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 128 | 21.1% | 78.9% | 1 | | | | |
| | 常用 | 44 | 31.8% | 68.2% | 0.57 | 0.27 - 1.23 | | | |
| 非常用 | 87 | 27.6% | 72.4% | 0.70 | 0.37 - 1.32 | | | | |
| | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 126 | 22.2% | 77.8% | 1 | | | | |
| 常用 | 54 | 24.1% | 75.9% | 0.90 | 0.43 - 1.91 | | | | |
| | 非常用 | 79 | 30.4% | 69.6% | 0.66 | 0.35 - 1.24 | | | |

*[仮に検査であなたがHIVに感染していることがわかったとき、病院に行くことについてどう思いますか?]の質問に対して「必ず行ける」と回答した群を1、「多分、行ける」「多分、行けない」「絶対行けない」と回答した群を0とした従属変数による変数減少法ステップワイズ(Wald)による多重ロジスティック回帰分析。従属変数と各項目間の単回帰分析によって有意差のあったものを独立変数として投入した。 ns;not significant

表7 女性受検者(n=3,731)における「受診に対する自信」との関連要因

| | N | 受診に対する自信 | | 調整前 オッズ比 | 95% 信頼区間 | | 調整後 オッズ比 * | 95% 信頼区間 | |
|---------------------------------|--------------------|-------------|-------|-------------|-------------|-------------|------------------|-------------|----|
| | | 絶対 行けない等 | 必ず行く | | 下限 | 上限 | | 下限 | 上限 |
| 基本属性 | | | | | | | | | |
| 年齢 | 24歳以下 | 1,204 | 25.4% | 74.6% | 1 | | | ns | |
| | 25-29歳 | 1,034 | 21.5% | 78.5% | 1.25 | 1.02 - 1.52 | | | |
| | 30-34歳 | 675 | 22.8% | 77.2% | 1.15 | 0.92 - 1.44 | | | |
| | 35-39歳 | 356 | 24.7% | 75.3% | 1.04 | 0.79 - 1.36 | | | |
| | 40-44歳 | 255 | 24.3% | 75.7% | 1.06 | 0.78 - 1.45 | | | |
| | 45-49歳 | 110 | 22.7% | 77.3% | 1.16 | 0.73 - 1.84 | | | |
| 50歳以上 | 97 | 19.6% | 80.4% | 1.40 | 0.83 - 2.35 | | | | |
| 居住地 | 該当地域(都道府県) | 3,475 | 23.3% | 76.7% | 1 | | | | |
| | それ以外の地域 | 256 | 25.8% | 74.2% | 0.88 | 0.65 - 1.17 | | | |
| 居住形態 | いいえ | 2,608 | 23.2% | 76.8% | 1 | | | | |
| | はい(1人暮らし) | 1,123 | 24.2% | 75.8% | 0.94 | 0.80 - 1.11 | | | |
| 婚姻状況 | 結婚していない | 2,932 | 23.6% | 76.4% | 1 | | | | |
| | 結婚している | 799 | 22.9% | 77.1% | 1.04 | 0.87 - 1.25 | | | |
| 健康保険加入状況 | 国民健康保険または職場の健康保険 | 2,713 | 22.2% | 77.8% | 1 | | 1 | | |
| | 被扶養者の健康保険 | 911 | 26.0% | 74.0% | 0.81 | 0.68 - 0.97 | 0.83 | 0.69 - 0.99 | |
| | 未加入 | 107 | 33.6% | 66.4% | 0.56 | 0.37 - 0.85 | 0.61 | 0.40 - 0.93 | |
| HIV抗体検査受検経験 | ある(再受検) | 1,330 | 21.5% | 78.5% | 1 | | 1 | | |
| | ない(初受検) | 2,401 | 24.6% | 75.4% | 0.84 | 0.72 - 0.99 | 0.84 | 0.71 - 1.00 | |
| HIVや検査に関する知識 | | | | | | | | | |
| ウィンドウピリオドについて | 誤答/わからない | 511 | 22.7% | 77.3% | 1 | | | | |
| | 正答 | 3,220 | 23.6% | 76.4% | 0.95 | 0.76 - 1.19 | | | |
| 偽陽性の可能性について | 誤答/わからない | 1,982 | 24.2% | 75.8% | 1 | | | | |
| | 正答 | 1,749 | 22.7% | 77.3% | 1.09 | 0.93 - 1.26 | | | |
| 確認検査の必要性について | 誤答/わからない | 1,174 | 25.6% | 74.4% | 1 | | 1 | | |
| | 正答 | 2,557 | 22.5% | 77.5% | 1.19 | 1.01 - 1.40 | 1.07 | 0.90 - 1.27 | |
| 重複感染について | 誤答/わからない | 1,294 | 22.7% | 77.3% | 1 | | | | |
| | 正答 | 2,437 | 23.9% | 76.1% | 0.94 | 0.80 - 1.10 | | | |
| 服薬治療について | 誤答/わからない | 940 | 27.9% | 72.1% | 1 | | 1 | | |
| | 正答 | 2,791 | 22.0% | 78.0% | 1.37 | 1.16 - 1.62 | 1.38 | 1.15 - 1.65 | |
| HIVに関する意識や相談先 | | | | | | | | | |
| 周囲のHIV感染者の有無 | いない/いないと思う | 2,590 | 24.2% | 75.8% | 1 | | | | |
| | わからない | 794 | 22.3% | 77.7% | 1.11 | 0.92 - 1.34 | | | |
| | いる/いると思う | 347 | 21.0% | 79.0% | 1.20 | 0.91 - 1.57 | | | |
| 過去6ヶ月間のHIV感染不安経験 | まったくなかった/あまりなかった | 2,708 | 21.4% | 78.6% | 1 | | 1 | | |
| | よくあった/時々あった | 1,023 | 28.9% | 71.1% | 0.67 | 0.57 - 0.79 | 0.70 | 0.59 - 0.83 | |
| 自分の家族へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 2,139 | 29.9% | 70.1% | 1 | | 1 | | |
| | できる/できると思う | 1,592 | 14.9% | 85.1% | 2.44 | 2.06 - 2.88 | 2.14 | 1.80 - 2.54 | |
| 身近な友達へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 2,119 | 28.1% | 71.9% | 1 | | 1 | | |
| | できる/できると思う | 1,612 | 17.4% | 82.6% | 1.85 | 1.58 - 2.17 | 1.60 | 1.36 - 1.89 | |
| 相談場所(電話相談など)の認知 | 知らない | 2,162 | 26.0% | 74.0% | 1 | | 1 | | |
| | 知っている | 1,569 | 19.9% | 80.1% | 1.41 | 1.21 - 1.65 | 1.27 | 1.08 - 1.50 | |
| 性感染症および予防行動 | | | | | | | | | |
| 性感染症既往歴 | ない | 2,579 | 23.9% | 76.1% | 1 | | | | |
| | ある | 1,152 | 22.5% | 77.5% | 1.08 | 0.92 - 1.28 | | | |
| 特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 1,400 | 24.5% | 75.5% | 1 | | | | |
| | 常用 | 485 | 22.7% | 77.3% | 1.11 | 0.87 - 1.41 | | | |
| | 非常用 | 1,846 | 22.9% | 77.1% | 1.09 | 0.93 - 1.29 | | | |
| 特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 2,671 | 23.3% | 76.7% | 1 | | | | |
| | 常用 | 246 | 26.8% | 73.2% | 0.83 | 0.62 - 1.12 | | | |
| | 非常用 | 814 | 23.0% | 77.0% | 1.02 | 0.85 - 1.23 | | | |
| 特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 3,731 | 23.5% | 76.5% | - | | | | |
| | 常用 | | | | | | | | |
| | 非常用 | | | | | | | | |
| 特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 3,731 | 23.5% | 76.5% | - | | | | |
| | 常用 | | | | | | | | |
| | 非常用 | | | | | | | | |

*「仮に検査であなたがHIVに感染していることがわかったとき、病院に行くことについてどう思いますか?」の質問に対して「必ず行ける」と回答した群を1、「多分、行ける」「多分、行けない」「絶対行けない」と回答した群を0とした従属変数による変数減少法ステップワイズ(Wald)による多重ロジスティック回帰分析。従属変数と各項目間の単回帰分析によって有意差のあったものを独立変数として投入した。 ns: not significant

表 8 SW 女性受検者(n=425)における「受診に対する自信」との関連要因

| | N | 受診に対する自信 | | 調整前 オッズ比 | 95% 信頼区間 | | 調整後 オッズ比 * | 95% 信頼区間 | |
|---------------------------------|--------------------|-------------|-------|-------------|-------------|-------------|------------------|-------------|--------------------------------|
| | | 絶対 行けない等 | 必ず行く | | 下限 | 上限 | | 下限 | 上限 |
| 基本属性 | | | | | | | | | |
| 年齢 | 24歳以下 | 188 | 30.3% | 69.7% | 1 | | | | |
| | 25-29歳 | 107 | 22.4% | 77.6% | 1.51 | 0.87 | - | 2.61 | |
| | 30-34歳 | 59 | 37.3% | 62.7% | 0.73 | 0.40 | - | 1.35 | |
| | 35-39歳 | 34 | 23.5% | 76.5% | 1.41 | 0.60 | - | 3.31 | |
| | 40-44歳 | 16 | 31.3% | 68.8% | 0.96 | 0.32 | - | 2.88 | |
| | 45-49歳 | 12 | 33.3% | 66.7% | 0.87 | 0.25 | - | 3.01 | |
| | 50歳以上 | 9 | 33.3% | 66.7% | 0.87 | 0.21 | - | 3.60 | |
| 居住地 | 該当地域(都道府県) | 404 | 29.2% | 70.8% | 1 | | | | |
| | それ以外の地域 | 21 | 23.8% | 76.2% | 1.32 | 0.47 | - | 3.69 | |
| 居住形態 | いいえ | 255 | 28.2% | 71.8% | 1 | | | | |
| 婚姻状況 | はい(1人暮らし) | 170 | 30.0% | 70.0% | 0.92 | 0.60 | - | 1.41 | |
| | 結婚していない | 376 | 28.7% | 71.3% | 1 | | | | |
| 健康保険加入状況 | 結婚している | 49 | 30.6% | 69.4% | 0.91 | 0.48 | - | 1.75 | |
| | 国民健康保険または職場の健康保険 | 265 | 30.2% | 69.8% | 1 | | | | |
| HIV抗体検査受検経験 | 被扶養者の健康保険 | 125 | 26.4% | 73.6% | 1.21 | 0.75 | - | 1.94 | |
| | 未加入 | 35 | 28.6% | 71.4% | 1.08 | 0.50 | - | 2.36 | |
| | ある(再受検) | 207 | 24.6% | 75.4% | 1 | | | | |
| | ない(初受検) | 218 | 33.0% | 67.0% | 0.66 | 0.43 | - | 1.01 | |
| HIVや検査に関する知識 | | | | | | | | | |
| ウインドウピリオドについて | 誤答/わからない | 70 | 27.1% | 72.9% | 1 | | | | |
| | 正答 | 355 | 29.3% | 70.7% | 0.90 | 0.51 | - | 1.60 | |
| 偽陽性の可能性について | 誤答/わからない | 243 | 28.4% | 71.6% | 1 | | | | |
| | 正答 | 182 | 29.7% | 70.3% | 0.94 | 0.62 | - | 1.44 | |
| 確認検査の必要性について | 誤答/わからない | 139 | 28.8% | 71.2% | 1 | | | | |
| | 正答 | 286 | 29.0% | 71.0% | 0.99 | 0.63 | - | 1.55 | |
| 重複感染について | 誤答/わからない | 95 | 31.6% | 68.4% | 1 | | | | |
| | 正答 | 330 | 28.2% | 71.8% | 1.18 | 0.72 | - | 1.93 | |
| 服薬治療について | 誤答/わからない | 121 | 28.9% | 71.1% | 1 | | | | |
| | 正答 | 304 | 28.9% | 71.1% | 1.00 | 0.63 | - | 1.59 | |
| HIVに関する意識や相談先 | | | | | | | | | |
| 周囲のHIV感染者の有無 | いない/いないと思う | 272 | 27.9% | 72.1% | 1 | | | | |
| | わからない | 90 | 34.4% | 65.6% | 0.74 | 0.44 | - | 1.23 | |
| | いる/いると思う | 63 | 25.4% | 74.6% | 1.14 | 0.61 | - | 2.13 | |
| 過去6ヶ月間のHIV感染不安経験 | まったくなかった/あまりなかった | 216 | 27.3% | 72.7% | 1 | | | | |
| | よくあった/時々あった | 209 | 30.6% | 69.4% | 0.85 | 0.56 | - | 1.30 | |
| 自分の家族へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 315 | 34.9% | 65.1% | 1 | | | 1 | |
| | できる/できると思う | 110 | 11.8% | 88.2% | 4.00 | 2.15 | - | 7.47 | 3.94 2.09 - 7.43 |
| 身近な友達へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 244 | 34.0% | 66.0% | 1 | | | 1 | |
| | できる/できると思う | 181 | 22.1% | 77.9% | 1.82 | 1.17 | - | 2.82 | 1.50 0.95 - 2.36 |
| 相談場所(電話相談など)の認知 | 知らない | 245 | 32.7% | 67.3% | 1 | | | 1 | |
| | 知っている | 180 | 23.9% | 76.1% | 1.55 | 1.00 | - | 2.39 | 1.66 1.06 - 2.60 |
| 性感染症および予防行動 | | | | | | | | | |
| 性感染症既往歴 | ない | 201 | 30.8% | 69.2% | 1 | | | | |
| | ある | 224 | 27.2% | 72.8% | 1.19 | 0.78 | - | 1.81 | |
| 特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 85 | 29.4% | 70.6% | 1 | | | | |
| | 常用 | 61 | 18.0% | 82.0% | 1.89 | 0.85 | - | 4.23 | |
| 特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 非常用 | 279 | 31.2% | 68.8% | 0.92 | 0.54 | - | 1.56 | |
| | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 88 | 26.1% | 73.9% | 1 | | | | |
| 常用 | 常用 | 91 | 23.1% | 76.9% | 1.18 | 0.60 | - | 2.33 | |
| | 非常用 | 246 | 32.1% | 67.9% | 0.75 | 0.43 | - | 1.29 | |
| 特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 425 | 28.9% | 71.1% | - | | | | |
| | 常用 | | | | | | | | |
| 非常用 | 非常用 | | | | | | | | |
| | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 425 | 28.9% | 71.1% | - | | | | |
| 常用 | 常用 | | | | | | | | |
| | 非常用 | | | | | | | | |

*「仮に検査であなたがHIVに感染していることがわかったとき、病院に行くことについてどう思いますか?」の質問に対して「必ず行ける」と回答した群を1、「多分、行ける」「多分、行けない」「絶対行けない」と回答した群を0とした従属変数による変数減少法ステップワイズ(Wald)による多重ロジスティック回帰分析。従属変数と各項目間の単回帰分析によって有意差のあったものを独立変数として投入した。

表9 WSW 受検者(n=141)における「受診に対する自信」との関連要因

| | N | 受診に対する自信 | | 調整前 オッズ比 | 95% 信頼区間 | | 調整後 オッズ比 * | 95% 信頼区間 | |
|---------------------------------|--------------------|-------------|-------|-------------|-------------|-------------|------------------|-------------|-------------------------|
| | | 絶対 行けない等 | 必ず行く | | 下限 | 上限 | | 下限 | 上限 |
| 基本属性 | | | | | | | | | |
| 年齢 | 24歳以下 | 55 | 29.1% | 70.9% | 1 | | | | |
| | 25-29歳 | 29 | 10.3% | 89.7% | 3.56 | 0.94 | - | 13.43 | |
| | 30-34歳 | 24 | 25.0% | 75.0% | 1.23 | 0.41 | - | 3.67 | |
| | 35-39歳 | 15 | 6.7% | 93.3% | 5.77 | 0.70 | - | 47.40 | |
| | 40-44歳 | 12 | 8.3% | 91.7% | 4.51 | 0.54 | - | 37.91 | |
| | 45-49歳 | 4 | 0.0% | 100.0% | - | | | | |
| 50歳以上 | 2 | 50.0% | 50.0% | 0.41 | 0.02 | - | 6.97 | | |
| 居住地 | 該当地域(都道府県) | 135 | 20.0% | 80.0% | 1 | | | | |
| | それ以外の地域 | 6 | 16.7% | 83.3% | 1.25 | 0.14 | - | 11.15 | |
| 居住形態 | いいえ | 93 | 18.3% | 81.7% | 1 | | | | |
| | はい(1人暮らし) | 48 | 22.9% | 77.1% | 0.75 | 0.32 | - | 1.77 | |
| 婚姻状況 | 結婚していない | 123 | 21.1% | 78.9% | 1 | | | | |
| | 結婚している | 18 | 11.1% | 88.9% | 2.14 | 0.46 | - | 9.93 | |
| 健康保険加入状況 | 国民健康保険または職場の健康保険 | 95 | 14.7% | 85.3% | 1 | | 1 | | |
| | 被扶養者の健康保険 | 40 | 27.5% | 72.5% | 0.46 | 0.19 | - | 1.12 | 0.16 - 1.09 |
| | 未加入 | 6 | 50.0% | 50.0% | 0.17 | 0.03 | - | 0.94 | 0.03 - 1.35 |
| HIV抗体検査受検経験 | ある(再受検) | 69 | 18.8% | 81.2% | 1 | | | | |
| | ない(初受検) | 72 | 20.8% | 79.2% | 0.88 | 0.39 | - | 2.02 | |
| HIVや検査に関する知識 | | | | | | | | | |
| ウィンドウピリオドについて | 誤答/わからない | 9 | 22.2% | 77.8% | 1 | | | | |
| | 正答 | 132 | 19.7% | 80.3% | 1.17 | 0.23 | - | 5.94 | |
| 偽陽性の可能性について | 誤答/わからない | 71 | 22.5% | 77.5% | 1 | | | | |
| | 正答 | 70 | 17.1% | 82.9% | 1.41 | 0.61 | - | 3.24 | |
| 確認検査の必要性について | 誤答/わからない | 37 | 18.9% | 81.1% | 1 | | | | |
| | 正答 | 104 | 20.2% | 79.8% | 0.92 | 0.36 | - | 2.39 | |
| 重複感染について | 誤答/わからない | 46 | 15.2% | 84.8% | 1 | | | | |
| | 正答 | 95 | 22.1% | 77.9% | 0.63 | 0.25 | - | 1.62 | |
| 服薬治療について | 誤答/わからない | 22 | 27.3% | 72.7% | 1 | | | | |
| | 正答 | 119 | 18.5% | 81.5% | 1.65 | 0.58 | - | 4.71 | |
| HIVに関する意識や相談先 | | | | | | | | | |
| 周囲のHIV感染者の有無 | いない/いないと思う | 88 | 20.5% | 79.5% | 1 | | | | |
| | わからない | 30 | 26.7% | 73.3% | 0.71 | 0.27 | - | 1.85 | |
| | いる/いると思う | 23 | 8.7% | 91.3% | 2.70 | 0.58 | - | 12.60 | |
| 過去6ヶ月間のHIV感染不安経験 | まったくなかった/あまりなかった | 95 | 14.7% | 85.3% | 1 | | 1 | | |
| | よくあった/時々あった | 46 | 30.4% | 69.6% | 0.40 | 0.17 | - | 0.92 | 0.52 0.21 - 1.30 |
| 自分の家族へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 73 | 27.4% | 72.6% | 1 | | 1 | | |
| | できる/できると思う | 68 | 11.8% | 88.2% | 2.83 | 1.15 | - | 6.96 | 3.10 1.21 - 7.95 |
| 身近な友達へのHIVや性感染症に関する相談可能性 | できない/できないと思う/わからない | 61 | 24.6% | 75.4% | 1 | | | | |
| | できる/できると思う | 80 | 16.3% | 83.8% | 1.68 | 0.73 | - | 3.86 | |
| 相談場所(電話相談など)の認知 | 知らない | 75 | 25.3% | 74.7% | 1 | | | | |
| | 知っている | 66 | 13.6% | 86.4% | 2.15 | 0.90 | - | 5.15 | |
| 性感染症および予防行動 | | | | | | | | | |
| 性感染症既往歴 | ない | 97 | 23.7% | 76.3% | 1 | | | | |
| | ある | 44 | 11.4% | 88.6% | 2.42 | 0.86 | - | 6.87 | |
| 特定(恋人や夫など)の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 72 | 20.8% | 79.2% | 1 | | | | |
| | 常用 | 14 | 21.4% | 78.6% | 0.97 | 0.24 | - | 3.90 | |
| 特定以外の男性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 非常用 | 55 | 18.2% | 81.8% | 1.18 | 0.49 | - | 2.89 | |
| | 過去6ヶ月間に男性と性交経験なし | 97 | 18.6% | 81.4% | 1 | | | | |
| 特定(恋人や妻など)の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 常用 | 13 | 15.4% | 84.6% | 1.25 | 0.26 | - | 6.15 | |
| | 非常用 | 31 | 25.8% | 74.2% | 0.66 | 0.25 | - | 1.70 | |
| 特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 124 | 20.2% | 79.8% | 1 | | | | |
| | 常用 | 3 | 33.3% | 66.7% | 0.51 | 0.44 | - | 5.80 | |
| 特定以外の女性との過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 非常用 | 14 | 14.3% | 85.7% | 1.52 | 0.32 | - | 7.21 | |
| | 過去6ヶ月間に女性と性交経験なし | 128 | 20.3% | 79.7% | 1 | | ns | | |
| 過去6ヶ月間のコンドーム使用状況 | 常用 | 2 | 0.0% | 100.0% | 0.80 | 0.73 | - | 0.87 | |
| | 非常用 | 11 | 18.2% | 81.8% | 1.15 | 0.23 | - | 5.63 | |

*「仮に検査であなたがHIVに感染していることがわかったとき、病院に行くことについてどう思いますか？」の質問に対して「必ず行ける」と回答した群を1、「多分、行ける」「多分、行けない」「絶対行けない」と回答した群を0とした従属変数による変数減少法ステップワイズ(Wald)による多重ロジスティック回帰分析。従属変数と各項目間の単回帰分析によって有意差のあったものを独立変数として投入した。 ns;not significant

HIV 郵送検査と保健所等における HIV 抗体検査受検者の特性に関する研究

研究協力者：佐々木由理、塩野徳史、金子典代、市川誠一(名古屋市立大学看護学部)

研究要旨

調査協力の得られた郵送検査会社 A 社の検査受検者および 8 都府県(宮城、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、福岡、沖縄) の 83 ヶ所の保健所等およびその他公的な HIV 抗体検査機関で 2012 年 10 月から 2013 年 9 月の期間に HIV 検査を受検した男女 62,269 名のうち、自記式質問紙に回答した 38,941 名(回答率: 62.5%)から、アンケートに初めて回答し、上記 8 都府県に在住する 28,564 名を分析対象者とした。郵送検査受検者群(以下、郵送受検者群、n=1,876)、保健所等 HIV 検査受検者群(以下、保健所等受検者群、n=18,996)やその他の公的 HIV 抗体検査機関である南新宿検査・相談室 HIV 検査受検者群(以下、南新宿受検者群、n=3,681)、chotCAST なんば HIV 検査受検者群(以下、chotCAST 受検者群、n=4,011)について解析した。

全受検者でみると、郵送検査の MSM 割合は 7.4%で、南新宿受検者群の 1/3、chotCAST 受検者群、保健所等受検者群のおよそ 1/2 の割合であった。その一方、MSM 以外の男性はほぼ同率で、女性は郵送受検者群で多い傾向にあった。社会属性としては、郵送検査受検者は、一人暮らしの割合と既婚者割合が他の検査機関受検者に比して高い傾向にあった。郵送検査受検者では、HIV 検査を初めて受検する割合が他の検査機関に比べて多く、そのほとんどが自発的に受検を決めていた。過去 6 ヶ月の感染不安を有する割合はすべての検査機関で 30%台であったが、相談場所を知っている割合や家族や友人に HIV/性感染症について相談できる割合は郵送受検者群で低かった。郵送検査においては対面支援が困難であることから、受検する前後、特に結果を知らせる場面での情報提供が重要となる。しかし、他の検査機関の受検者でも相談場所を知らない受検者は 6 割近くを占め、家族や友人に相談できない割合も 2/3 を占めており、いずれの検査機関においても、受検者の状況を踏まえた支援の対応が望まれる。

MSM受検者においても、郵送検査は初受検者が他の検査機関より多く、また自発的に利用していることが示唆された。HIVや性感染症で困った時や不安な時に家族に相談できる、できると思うと回答した割合は、MSM受検者は全受検者に比して低く、特に郵送受検者群は12.2%と低い。一方で友人に相談できる、できると思うと回答した割合は全受検者の場合より高く、また家族への相談よりも高かった。

郵送検査では、一人暮らしの割合や既婚者割合、初めて受検する割合、金銭を払った性経験や金銭をもらった性経験の割合などが他の検査機関の受検者に比べて高い傾向にあり、これらの受検者層が郵送検査を自発的に選んでいる傾向が伺えた。相談場所の認知が低いことなどから他の検査機関と共に受検者への支援に関する情報提供などの対応が必要と思われる。

A. 研究目的

保健所等での HIV 検査件数は、2008 年の 177,156 件をピークにその後、激減している¹。2009 年の新型インフルエンザの流行や 2011 年の東日本大震災の影響も考慮すべきではあるが、2012 年の検査件数は 131,235 件で、2008 年のピーク時から約 46,000

件(25.9%減)の減少となっている。このように、保健所等での HIV 検査件数が減少傾向にある一方で、HIV 郵送検査件数は 2011 年まで年々増加を続け、2012 年も 65,000 件以上の利用となっている²。

郵送検査は、自宅で検査ができるため、匿名性や簡易性、時間的制限がないことなどがメリットであ

ると考えられている³。一方で、HIV 検査前後の対面での説明や相談、陽性であった場合の医療機関へのフォローアップがしづらい、検査キットの公的な精度管理が実施されていないといった懸念が指摘されている²。

しかし、日本において、MSM (Men who have sex with men)、セックスワーカー、若年層などの個別施策層に対する HIV 検査受検の促進が課題となっている中、郵送による HIV 検査を利用した受検者や保健所等を利用した受検者の特性については明らかになっていない。

本研究班は、MSM が HIV/AIDS 報告数の大半を占める現状から、保健所等での MSM の HIV 検査の受検を促進するため、NGO と保健所等との協力関係を進め、その効果を HIV 抗体検査受検者における MSM の動向を把握することとした。調査は、本研究班の対象地域である 8 都府県(宮城、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、福岡、沖縄)で受検者アンケートに協力が得られた保健所等・公的検査機関で実施した。また、近年の郵送検査利用者の増加を鑑み、郵送検査会社 1 社の協力を得た。

本研究では、HIV 郵送検査受検者群(以下、郵送受検者群)、保健所等 HIV 抗体検査受検者群(以下、保健所等受検者群)やその他の公的 HIV 抗体検査機関受検者群(南新宿検査・相談室 HIV 検査受検者群、以下南新宿受検者群; chotCAST なんば HIV 検査受検者群、以下 chotCAST 受検者群)の 4 群について受検者特性を解析した。

B. 研究方法

2012 年 10 月から 2013 年 9 月に調査協力の得られた郵送検査会社 1 社と 8 都府県(宮城、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、福岡、沖縄)で無料匿名検査が受けられる 83 ヶ所の保健所等およびその他公的な HIV 抗体検査機関(南新宿検査・相談室および chotCAST なんば)で HIV 抗体検査を受検した男女 62,269 名を対象にした。

1) 保健所等公的検査機関の受検者アンケート

保健所等およびその他の公的 HIV 抗体検査機関には、採血前後にアンケートを回答することを依頼した。受検者には文書によるアンケートへの協力を依

頼し、回答後にアンケート用封筒に密封して、保健所等に設置された専用の回収ボックスに投函することとした。回答されたアンケートは毎月ごとに郵送で回収した。

2) 郵送検査の受検者アンケート

郵送受検者へのアンケートは郵送検査会社 A 社の協力を得て実施した。A 社はホームページあるいはコールセンターを通じて受検者から検査キットの注文を受け、検査キットを受検者に送付する。その際にアンケートも同封してもらった。受検者には、検査キットで血液検体を採取して返信用封筒で血液検体を A 社に返送する際に、回答したアンケートと一緒に返却することを書面で依頼した。

3) 分析対象者

調査協力の得られた郵送検査会社 1 社の検査受検者および 8 都府県(宮城、千葉、東京、神奈川、愛知、大阪、福岡、沖縄)の 83 ヶ所の保健所等およびその他公的な HIV 抗体検査機関で 2012 年 10 月から 2013 年 9 月の期間に HIV 検査を受検した男女 62,269 名を対象にした。調査参加に同意し、自記式質問紙に回答した 38,941 名(回答率: 62.5%)のうち、アンケートに初めて回答し、上記 8 都府県に在住する 28,564 名を分析対象者とした。

郵送受検者群(n=1,876)、保健所等受検者群(n=18,996)、南新宿受検者群(n=3,681)、chotCAST 受検者群(n=4,011)の 4 群の社会属性、検査受検行動、周囲との関わり、予防や治療の知識、性行動について、全受検者と MSM (Men who have sex with men) について分析した。

なお、この 8 都府県は、本調査で協力の得られた保健所等および 2 つの公的 HIV 抗体検査機関の所在地であり、対象者を 8 都府県在住者に限定することで、地域性の一定化を図った。

郵送受検者群は東京都内(36.8%)、神奈川県内(16.1%)、千葉県内(9.9%)の関東圏内在住者が 60% を占めていた(表 1)。保健所等受検者群では、東京都内(24.5%)、神奈川県内(15.9%)、千葉県内(7.7%)の関東圏内在住者がおよそ 50%、大阪府内が 21.1%、

愛知県内が15.5%であり、調査協力地域の受検者数に応じた分布であった。当然ではあるが、南新宿受検者群は東京都内在住者が87.5%、chotCAST受検者群は大阪府内在住者が99.8%であった。

本研究では、性別が男性で、性行為相手が男性のみ又は男女両方であった場合をMSMと定義し、MSM受検者を検査機関別に関連を見た。また調査期間中に一部調査項目が追加されたため、それらの質問項目に関しては質問項目追加後の回答者を分析対象とした。 χ^2 検定でp値が0.05未満の場合を統計学的に有意であるとした。統計解析にはSPSS 19を使用した。

4) 倫理的配慮

「ヘルシンキ宣言」の趣旨に沿った倫理的配慮を図るため、名古屋市立大学看護学部の研究倫理委員会の審査を受け、承認を得て調査を開始した(ID番号11026-2)。

研究の目的や調査協力の自由、個々の回答を調査協力施設のスタッフが見ないことを書面にて説明し、アンケートへの回答により同意したものとした。調査で入手したすべての情報は、研究代表者が指名した研究者のみがアクセスできるものとし情報管理を徹底した。検査受検者のアンケートは血液検体とリンクしておらず、個人を特定する質問項目は含めなかった。

C. 研究結果

検査機関の受検者別における8都府県の居住地分布と社会属性、検査受検行動、予防や治療に関する知識、性行動について、全受検者とMSM受検者で分析を行った。

1. 郵送検査および保健所や公的検査機関の全受検者について

1) 社会属性(表2)

全受検者に占めるMSM割合は、南新宿受検者群が24.0%と最も高く、chotCAST受検者群15.3%、保健所等受検者群12.2%、郵送受検者群7.4%であった。MSM以外の男性は、保健所等受検者群53.3%、郵送受検者群52.6%、chotCAST受検者群51.9%とほぼ同様

で、南新宿受検者群41.2%と少ない割合であった。女性は、郵送受検者群が40.0%を占めたが、南新宿受検者群34.7%、保健所等受検者群34.2%、chotCAST受検者群32.3%はほぼ同様であった。(p<0.001)

年齢階級が24歳未満の若年層の割合は保健所等受検者群が18.4%で、郵送受検者群や南新宿受検者群に比較して高かった(p<0.001)。

居住形態で一人暮らしの割合は、保健所等受検者群35.4%に比して南新宿受検者群50.8%、郵送受検者群45.4%は高く(p<0.001)、既婚者割合は南新宿受検者群(19.4%)やchotCAST受検者群(21.8%)に比して郵送受検者群(28.4%)、保健所等受検者群(27.6%)が高かった(p<0.001)。

2) HIV検査受検行動や周囲との関わりおよび予防や治療に関する知識(表3)

HIV検査の受検経験を有する割合は、南新宿受検者群が45.1%と最も高く、郵送受検者群は34.8%と低かった(p<0.001)。今回の検査を自分で受けようと思った人の割合はどの群でも高かったが、特に郵送受検者群は92.2%を占めていた(p<0.001)。郵送検査は初めて検査を受ける人が多く、ほとんどが自発的に受検していることが示唆された。

過去6ヶ月に感染不安がよくあった、時々あったと回答した割合は、すべての検査機関の受検者で30%台であったなか、南新宿受検者群が36.1%で最も高かった(p=0.006)。

HIVに関する相談場所について、知っていると回答した人の割合は南新宿受検者群で55.4%と5割を超えていたが、保健所等受検者群44.1%、chotCAST受検者群43.1%、郵送受検者群36.5%で、これらの受検者では知らない者が6割近くを占めていた(p<0.001)。

HIVや性感染症で困った時や不安な時に家族に相談できる、できると思うと回答した割合は郵送受検者群が23.4%と他の群に比して低い(p<0.001)、保健所等受検者群36.3%、chotCAST受検者群33.4%、南新宿受検者群31.2%でも受検者の2/3は相談できないと回答していた。このことは友達への相談でも同様であった(p<0.001)。

友達や知人に感染者がいる、いると思うと回答した人の割合は、南新宿受検者群で20.5%、chotCAST受検者群15.3%、保健所等受検者群13.7%、郵送受検者群9.2%の順であった(p<0.001)。

HIV感染予防や知識の問題5問に対して、全問正解した人の割合は、郵送受検者群(36.3%)やchotCAST受検者群(36.2%)で他の群より高かった(p<0.001)。

3) 性行動について(表4)

すべての検査機関の受検者の95%以上がセックス経験を有しており、過去6ヶ月の膣・アナルセックス経験割合も2/3を越えていた。セックス相手別にみた過去6ヶ月の膣・アナルセックス時のコンドーム使用状況は、特定男性とのセックス時では南新宿受検者群27.5%、chotCAST受検者群25.9%、保健所等受検者群22.7%、郵送受検者群18.6%であった(p<0.001)。特定男性以外の男性とのセックス時では、南新宿受検者群で35.4%、chotCAST受検者群35.2%、保健所等受検者群28.8%、郵送受検者群28.4%であった(p<0.001)。特定女性とのセックス時では南新宿受検者群36.9%、chotCAST受検者群33.3%、保健所等受検者群33.0%、郵送受検者群32.5%で差異はなかった(p=0.162)。特定以外の女性とのセックス時では、南新宿受検者群で43.7%から保健所等受検者群39.1%の範囲で差異はなかった(p=0.119)。

過去6ヶ月に金銭を払ってセックスをした経験を持つ受検者割合は、郵送受検者群35.4%が他群と比較して高かった(p<0.001)。また金銭をもらってセックスをした経験を持つ受検者割合も、郵送受検者群8.3%と他群より高かった(p<0.001)。

性感染症既往歴の割合は、22.7%~25.6%の範囲であった。

2. 郵送検査および保健所や公的検査機関のMSM受検者について

1) 社会属性(表5)

居住形態で一人暮らしと回答しているMSMは南新宿受検者群で61.7%と最も高く、次いで郵送受検者群55.8%、chotCAST受検者群50.2%、保健所等受検者群48.8%であった(p<0.001)。既婚者割合は7%~

15%と低いが、郵送受検者群15.2%は他群と比較すると高かった(p=0.039)。

2) HIV検査受検行動や周囲との関わりおよび予防や治療に関する知識(表6)

MSM受検者で過去のHIV検査経験を有する割合は、南新宿受検者群が69.8%と最も高く、最も低かった郵送受検者群でも58.0%であった(p=0.045)。今回の検査を自発的に決めた人の割合はchotCAST受検者群が85.6%と最も低く、他の群は90%を超えていた。特に郵送受検者群96.4%は最も高かった(p=0.008)。MSM受検者においても郵送検査は初受検者が他の検査機関より多く、また自発的に利用していることが示唆された。

HIVや性感染症で困った時や不安な時に家族に相談できる、できると思うと回答した割合は、すべての検査機関のMSM受検者が20%前後で、郵送受検者群は12.2%であった(p=0.028)。友人に相談できる、できると思うと回答した割合は家族より高いが、南新宿受検者群50.7%、保健所等受検者群49.7%、chotCAST受検者群49.3%に比して郵送受検者群は29.6%であった(p=0.001)。

HIV感染予防や知識について、全問正解者の割合は郵送受検者群で49.0%と最も高く、次いでchotCAST受検者群46.4%、保健所等受検者群40.0%、南新宿受検者群36.9%であった(p=0.003)。

3) 性行動について(表7)

過去6ヶ月の膣・アナルセックス経験割合は、すべての検査機関のMSM受検者で80%前後の回答であった(p=0.979)。セックス相手別にみた膣・アナルセックス時のコンドーム使用状況は、特定男性とのコンドーム常用割合が郵送受検者群36.3%、南新宿受検者群36.2%、chotCAST受検者群34.0%に比して保健所等受検者群29.1%は低かった(p=0.010)。また特定以外の男性とのコンドーム常用割合も、南新宿受検者群とchotCAST受検者群が43.1%、郵送受検者群40.5%に比して保健所受検者群36.7%が低かった(p=0.018)。

過去6ヶ月のセックス経験について、金銭を払って